

印刷局

明治三十二年一月九日(月曜日)午前十時十八分開議

議事日程 第十一號 明治三十二年一月九日

午前十時開議

- 第一 明治三十二年度歳入歳出總豫算案並明治三十二年度各特別會計歳入歳出豫算案審査期限ヲ定ムルノ件
豫算外國庫ノ負擔ヲナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件審査期限ヲ定ムルノ件
- 第二 明治三十二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)審査期限ヲ定ムルノ件
- 第三 明治三十二年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特追第一號)審査期限ヲ定ムルノ件
- 第四 海港檢疫法案(政府提出)
- 第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第六 種痘法案(政府提出)
- 第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第八 供託法案(政府提出)
- 第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十 郵便條例中改正法律案(政府提出)
- 第十一 關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律案
- 第十二 (議院送付)
- 第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十四 荒野由次郎君選舉爭訟ノ件(資格審查委員長報告)
- 第十五 第一讀會

○議長（公爵近衛篤磨君）是ヨリ報告ヲ致シマス

〔小原書記官朗讀〕

開總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知シタリ
去三十一年十二月二十七日日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日內

田畑地價修正法律案
地租條例中改正法律案

同日本院ニ於テ可決シタル宅地組換法案ハ即日衆議院ニ送付シタリ
各委員長副委員長左ノ通當選セラレタリ

委員長 渡邊 洪基君

副委員長 男 曾尾崎 三良君

貴族院議事速記錄第十一號

明治三十二年一月九日

議長ノ報告

議事日程第一乃至第四ノ件

111

日本銀行納付金ニ關スル法律案外一件特別委員會

委員長 侯爵細川 護成君
副委員長 富田鐵之助君

一昨七日岩村定高君薨去セラル依テ本日左ノ弔辭ヲ贈ル

貴族院ハ議員正三位勲二等岩村定高君ノ長逝ヲ追悼シ恭シク弔辭ヲ呈ス

○議長（公館近衛篤磨君）是ヨリ日程ニ移リマス。第一ヨリ第四マデハ豫算ヲ審査期限ヲ定ムル件デアリマスカラ是ハ併テ問題ニ供シマス。

〔小原書記官朗讀〕

明治三十二年度歲入歲出總豫算案並明治三十二年度各特別會計歲入歲出豫算案

明治三十一年十二月二十四日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
右本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十一年十二月二十四日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨

明治三十二年度入歲出總豫算追加案(第一號)
右本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十一年十二月二十四日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨

明治三十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案（特追第一號）
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十一年十二月二十四日

衆議院議長岡健吉

貴族院議長公薨近衛篤磨殿

○子爵由利公正君 委員長カ出席アリマセヌデ私カラ申上ゲマス、本議案ハ
何レ此歳入ノ部モ其中ニ出テ參ルコトデアラウト考ヘマスルガ、ドウゾ本月

三十一日限二期限ヲ定メタウコサイマス

○議長(公置近衛篤磨君) 三十一日限……………今月中テス力

○子爵由利公正君 左様テコサイマス

○男爵金子有唯君 贊成

○諱長(公曾近衛篤磨君) 由利子曾ノ重諱ニ徹異諱カナクハ其近ニ致シマス

二異議ナシト呼ぶ者多シ

ニナツテモ政府が填補案モ出サズ各種ノ收稅法案モ出サズ揃ウテ歳入歳出ノ

突合セノ付カヌトキハ又ドウゾ三十一日ノ期限ヲ延ビテ來月ノイッマデト云フコトニ適當ノコトニナルヤウニ御承知置ノ上三十一日ニ御極ヲ願ヒタイ、サウセナイト歳入歳出ノ全體額ハナイデ豫算會議ダケ三十一日ニ議決スルト歳出ダケ極ツテ歳入ガ分ラナイコトニナリ又借金政略デ償金ヲ繰入ル、ヤウナ不都合ナコトヲ貴族院ガ政府ニサセル權能ヲ與ヘルコトニナリマスカラ三十一日ニ至ッテ若シ歳入案ノ方ガ出テ來ナケレバ又延期スルト云フコトヲ御承知置ヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 金子君ニ賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) 金子君ノ說ハ別段動議ト云フマデニ致サヌデモ皆サシガ御異議ガナケレバ其通ノ意味ヲ以テ由利子爵ノ動議ヲ可決ト看做シテ宜シウゴザイマスカ

(異議ナシト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ第五、海港檢疫法案、政府提出、第一讀會

(小原書記官朗讀)

海港檢疫法案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十一年十二月二十二日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋
內務大臣侯爵西鄉從道

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

海港檢疫法

第一條 海外諸港及臺灣ヨリ來ル船舶ニ對シテハ傳染病豫防ノ爲檢疫ヲ施行ス

第二條 海外諸港及臺灣ヨリ檢疫ヲ施行スル港ニ來ル船舶ハ其ノ入港前ニ於テ此ノ法律ニ依リ檢疫ヲ受ケ許可證ヲ得タル後ニ非レハ其ノ港ニ入港シ陸地又ハ他船ト交通シ船客乗組員ノ上陸、物件ノ陸揚ヲ爲スコトヲ得ス

第三條 船舶ニシテ入港後傳染病患者ヲ發生シタルトキハ檢疫官吏ノ指定ニ從ヒ更ニ檢疫ヲ受ケ許可證ヲ得ルニ非レハ他港ニ進航シ陸地又ハ他船ト交通シ船客乗組員ノ上陸、物件ノ陸揚ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 船舶長其ノ他ノ乗組員ハ檢疫官吏ノ請求アルトキハ所定ノ式紙ニ事實ヲ記入シ其ノ氏名ヲ署シタル明告書ヲ差出スヘシ

第五條 船舶長ハ檢疫官吏ノ請求ニ應シテ航海日誌ヲ示シ且船内ノ各部ヲ開キ検査ヲ受クヘシ但シ船中船客又ハ乗組員ニテ占居シタルトキ又ハ他ノ事故ニ依リテ傳染病毒ニ汚染シタル疑アルトキニ限り其ノ検査ヲ受クヘシ

第六條 海外諸港及臺灣ヨリ檢疫ヲ施行スル港ニ來ル船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ其ノ入港前ヨリ許可證ヲ得ルマテ檢疫信號ヲ掲ク

- 一 現ニ傳染病患者若ハ死者アルモノ
- 二 航海中傳染病患者若ハ死者アリタルモノ
- 三 傳染病流行地ヲ發シ又ハ其ノ地ヲ經テ來航シ若ハ傳染病毒ニ汚染シタル船舶ト交通シタルモノ
- 二條第二項ノ船舶ハ患者發見ノ時ヨリ許可證ヲ得ルマテ檢疫信號ヲ掲クヘシ
- 檢疫信號ハ晝間ハ船舶ノ前檣頭ニ黃旗ヲ掲ケ夜間ハ同所ニ紅白二燈ヲ連掲スルモノトス
- 第五條 海外諸港及臺灣ヨリ檢疫ヲ施行セサル港ニ來ル船舶ニシテ第四條第一項ノ各號ノ一ニ該當スルモノ又ハ其ノ港内ニ碇泊中傳染病患者ヲ發生シタルモノハ前條ノ規定ニ從ヒ檢疫信號ヲ掲ケ其ノ地ノ警察官吏ニ届出テ指揮ヲ待ツヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ警察官吏ノ命アルトキハ直ニ檢疫ヲ施行スル港ニ廻航シテ檢疫ヲ受クヘシ
- 第一項ノ場合ニ於テ警察官吏ノ指揮アルマデハ他港ニ進航シ陸地又ハ他船ト交通シ船客乗組員ノ上陸、物件ノ陸揚ヲ爲スコトヲ得ス
- 第六條 檢疫官吏ハ第一條ノ船舶ニ對シ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得
一 現ニ傳染病患者若ハ死者アルモノハ命令ノ定ムル期間停船ヲ命シ患者死者ノ處分ヲ指示シ船舶其ノ他ノ物件ノ消毒法ヲ施行シ且必要アリト認ムルトキハ船客乗組員等ヲ検査所ニ移轉セシムルコト
二 航海中傳染病患者若ハ死者アリタルモノハ第一號ノ規定ニ準シテ處分スルコト
三 傳染病流行地ヲ發シ又ハ其ノ地ヲ經テ來航シ若ハ其ノ船舶ニ傳染病毒ノ汚染シタル疑アルモノハ必要アリト認ムルトキ第一號ノ規定ニ準シテ處分スルコト
四 停船中傳染病患者ヲ發生スルトキハ更ニ第一號ノ規定ニ依リ處分スルコト
五 傳染病ノ疑アル患者アルトキハ二日ヨリ多カラサル期間停船ヲ命スルコト
- 第七條 停船ヲ命セラレタル船舶ハ檢疫官吏ノ指示シタル場所ニ碇泊シ其ノ許可證ヲ得ルニ非レハ他ニ移轉スルコトヲ得ス
- 第八條 檢疫所ニ移轉セシメラレタル船客乗組員ハ檢疫官吏ノ許可ヲ得ルニ非レハ本船其ノ他ト交通シ若ハ物件ヲ搬出スルコトヲ得ス
- 第九條 船舶及物件ノ消毒ハ檢疫官吏之ヲ施行シ船舶長其ノ他ノ乗組員ハ其ノ施行ニ關シテ之ヲ補助スルノ義務アリ
- 第十條 消毒費ハ船舶長若ハ其ノ代理人ヨリ徵收ス
- 第十一條 檢疫所ニ移轉セシメラレタル者ノ食費及患者死者ニ關スル費用ハ其ノ乗組員ニ屬スルモノハ船舶長若ハ其ノ代理人ヨリ其ノ船客ニ屬スルモノハ本人ヨリ之ヲ徵收ス
- 本條及第九條第二項ノ費額及其ノ徵收ニ關シ必要ノ規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第十二條 第五條第七條第八條ノ規定ニ違背シタルモノハ五十圓以上

第十二條 此ノ法律ノ執行ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨害シ又ハ檢疫官吏ノ尋問ニ對シテ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ事實ヲ答辯シ又ハ其ノ命令ニ從ハサル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス
船長若ハ船長ノ職務ヲ行フ者前項ノ罪ヲ犯シ又ハ船客乗組員ノ之ヲ犯スヲ知テ制止セサルトキハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 外國ノ軍艦ニシテ檢疫ヲ施行セル港ニ來航スルニ當リ第四條第一項各號ニ該當スル事實ナキトキハ其ノ艦長及醫官ヨリ書面ヲ以テ檢疫官吏ニ其ノ旨ヲ明告スヘシ

内外國ノ軍艦ニシテ第二條第二項第四條第一項各號ノ一ニ該當スル事實アルモノハ検査官吏ニ於テ其ノ艦ト陸地又ハ他船トノ交通乗組員ノ上陸、物件ノ陸揚ヲ制限スルコトヲ得又同上ノ軍艦ニシテ第五條ノ規定ニ該當スル場合ハ其ノ地ノ警察官吏ニ於テ以上ノ處分ヲ爲スコトヲ得第二條第二項及第五條ニ該當スル事實アルトキハ艦長及醫官ヨリ其ノ旨ヲ検査官吏又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

前項ノ外軍艦ニ對スル檢疫ハ檢疫官吏ニ於テ艦長ト協議シ此ノ法律ノ規定ニ準シテ適宜ノ處置ヲ爲スコトヲ得

第十五條 明治十二年第二十九號布告明治十五年第三十一號布告明治二十四年勅令第六十五號明治二十七年勅令第五十六號ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

〔政府委員松平正直君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松平正直君) 此海港檢疫法案ヲ提出シマス所以ハ傳染病ヲ豫防致シマスルノニ、是マデ海外並臺灣等カラ這入リマスルノヲ此檢疫ヲ施行シマスルニハ流行時節ニ於テ施行スルト云フコトニナクテ居リマス、所ガ流行時期ニ施行スルトイツデモ時機ヲ誤リ或ハ内地ニ侵入セラレタ後ニ檢疫法ノ完備ヲ告ル場合ニナリマシテ大ニ此内地ニ侵入サル、コトヲ防グ目的ヲ達セザルコトガ比々アリマス、就キマシテハ此度之ヲ常役ニシマシテイツモ海外カラ來リマス船ニ就イテ檢疫ヲ施行シ得ラル、目的ヲ達シ、海外即チ印度地方ノ虎列刺ノ如キ或ハ又「ベスト」ノ如キノモノガ内地ニ侵入スルコトヲ確ト豫防ヲサセル目的ヲ達シタイト云フ趣意ニ外ナラヌノデゴザイマス、ドウゾ御賛成ヲ得テ此法案ノ成立チマスルコトヲ希望致シマスル

○辻新次君 少シ質問ガアリマス、此第九條ノ第二項ニ「前項ノ消毒費ハ船主船長若ハ其代理入ヨリ徴收ス」トアリマス、サウシテ第十條ノ第二項ニ「本條及第九條第二項ノ費額及其ノ徴收ニ關シ必要ノ規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、此消毒費ノ費額ト云フモノハドウ云フモノガ消毒費ノ中ニ這入リマスカ其性質ヲチヨット御尋シタイ、ワレカラモウ一ツハチヨットシタコトデアリマスガ第六條ノ一番仕舞ノ方ニ船客乗組員等ヲ檢疫所ニ移轉セシムルコト、アル、此船客乗組員「等」ト云フノハ船客乗組員ヲ云フノカ、船客乗組員ノ外ノモノヲ云フノカ外ノモノヲ云フヤウニ見エテ居ル、所デ其船客乗込員ノ外ニドウ云フモノガアツテ此「等」ノ中ニ這入ルカ其モノヲ御尋

シタイ、ツレカラ此十一條ト十二條……第二項ニ罰金ガ舉ゲテアリマスガ十一條ト第十二條ノ罰金ノ差ガ大分付イテ居リマ스가少シク其輕重ヲ御聞キ申シタイ、ツレダケノ答辯ヲ請ヒマス

（政府委員長谷川泰君演壇ニ登ル）

○政務委員(長谷川泰君) 唯今ノ街尋ハ第六條ト第九條ト第十一條 十二條
○大所次官 第一ニ同僚ノマヽハ第九條ノ角尋尋ハ第六條ト第十一條 十二條

第一二卷

第一「卸尋ヲスル、第九條ノ「前項ノ背毒費」此背毒費、命分ヲ以テ定ムト

云フコトガ書イテアリマスガ、ドンナコトヲ凡ツ言フカ前以テ御聞申シタ

行

○政府委員(長谷川泰君) 御答申シマスガ、是ハヒドク船内ニ於テ例ヘバ虎

毒致シマスヤウナ場合、或ハ船房等ニ於テヒ下ク糞レマシテ其處ヘ強力ナレ
死刺患者ノ吐瀉物ノ多クニ糞シマシタ器具ノ如キモノテアリマス
ツレテ消

消毒等デモ
ツテ檢疫ヲ
行ヒマスヤ
ウナ事柄ガ
之ニ屬シマ
スノデアリ
マス、ツ

レカラ次ノ御尋ハ第六條デアリマスカ「乗組員等」ト云フコトニ附イテノ御

尋ト心得マス、是ハ一體船客乗組員ダケヲ檢疫所ニ移シマシテ、若シ患者等

ガアリマシタル場合ニ於キマシテハ検査所ニ於テハ衣服其他等ヲ消毒致スヤ

ウナ譯テスカ「乗組員等」ト申シマスノハ等ハ船客ト乗組員テアリマス

此等ト云フ字ヲ加ヘタノデアリマス、ツレカラ罰金ノ差ノアリマスコトニ附

キマシテ十一條十二條ニ附イテノ御尋デアリマスガ、是ハ現行ノ船舶檢疫規

則ニモ矢張大體此通ニナツテ居リマスカラ矢張從前ノ法律ヲ斟酌致シマシ

テ……現行ノ法律ヲ斟酌致シマシテ此通牒ゲマシタ次第デアリマス

三宅秀正正府委員ニ任シ、ト賢同致シマスル費用

トモ幾分カ費シテオイデノコトニ承知シテ居リマスカラ成ルベク此法律ヲ實

行スルニ附イテハ幾ラ掛ル、現今法律ガナク、テモドノ位掛、テ居ルト云フ

コトヲチヨツト御尋致シマス

○政府委員（長谷川泰君） 御答申シマスデゴザイマス、此費用ニ對シマシテ

ハ從來ハ其時ニ依リマシテ要スルニ比去津ヲ實施致シマシテ疆要ノ開港ノ僉アリ色々違ガコザイマスガ要スルニ比去津ヲ實施致シマシテ疆要ノ開港ノ僉

疫ヲ實施スルコトニナリマシタナラバ二十万若クハ二十二万位ノ費用ハ要ス

スルダラウト存ジマス

○男爵有地品之允君 此船舶ト云フ中ニハ軍艦モ無論這入ッテ居ルコト、考

ヘマスガ如何デコザイマス
〔政府委員長谷川泰吉演説ニ答レ〕

○政府委員(長谷川泰君) 御答申レマス、軍艦ハ唯訊問致シマスダケデアリ

マシテ、船内ニ這入ッテ他ノ船舶ノ如ク十分中ヲ改メルト云フコトハナイノデ

アリマス、尤モ艦長ノ請求ニ依リマシテ消毒等ヲ行ヒマスル場合ハ別デアリ

マスガ、現在ハ多ク向フカラ請求スルコトニナツテ居リマス、併ナガラコチ

ヲカテ艦内ニ立入り、テ普通ノ船船ノ如ク悉ク權要ナル所ヲ調査スルニ云

宣船之生處之遠近

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御質問ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○男爵中川興長君 本案ノ特別委員ハ議長ニ於テ御選定アラシコトヲ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長委託ニ御異議ガナクバ其通ニ致シマス

(異議ナシト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 第七、種痘法案、政府提出、第一讀會

(小原書記官朗讀)

種痘法案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十一年十二月二十二日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋
內務大臣侯爵西鄉從道

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメニ茲ニ載録ス)

種痘法

第一條 種痘ハ定期種痘及臨時種痘ノ二種トス

第二條 定期種痘ハ左ノ三期ニ於テ之ヲ行フ

第一期 出生後十二箇月以内

但シ不感ナルトキハ六箇月以内ニ於テ再回接種シ尙不感ナルトキハ更ニ六箇月以内ニ於テ三回接種スヘシ

第二期 六歲

第三期 十二歲

第二期及第三期ノ年齡計算ハ曆年ニ依ル

第三條 痘瘡ヲ終ヘタル者ニハ定期種痘ヲ行フヲ要セス

第四條 臨時種痘ハ痘瘡流行シ又ハ流行ノ虞アルトキ之ヲ行フ

前項ニ依リ臨時種痘ヲ行フノ必要アル者及其ノ期限ハ地方長官ニ於テ之ヲ定ム

第五條 市町村ハ種痘醫ヲ常置シ地方長官ノ指示ニ從ヒ定期又ハ臨時ノ種痘ヲ施行スヘシ

市町村ニ於テ施行スル種痘ニ要スル痘苗ハ官立痘苗製造所ヨリ無償ニテ配布スヘシ

第六條 市町村長ハ種痘簿ヲ調製スヘシ

市町村長ハ第二條ノ定期種痘期ニアル者若ハ第四條ノ臨時種痘ヲ行フノ必要アル者ニ種痘ノ期日ヲ指定スヘシ

第七條 病氣又ハ事故アリテ市町村長ノ指定シタル期日ニ種痘ヲ受クルコト能ハサル者ニ對シテハ其ノ病氣ノ轉歸若ハ事故ノ止ムマテ種痘ヲ猶豫スルコトヲ得

第八條 種痘ヲ受ケタル者ハ醫師ノ指定シタル期日ニ於テ檢診ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ痘瘡ノ採收ヲ要スルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第九條 醫師ハ種痘ヲ行ヒタルトキハ檢診後三十日以内ニ市町村長ニ届出スヘシ

第十條 醫師ハ種痘ヲ受ケタル者ニ其ノ證ヲ付與スヘシ

第十一條 地方長官ノ指示アルニ拘ラス市町村ニ於テ定期又ハ臨時ノ種痘ヲ施行セス或ハ之ヲ施行スルモ充分ナラスト認ムルトキ若ハ必要ノ期限內ニ施行シ得タルトキハ地方長官ハ府縣稅又ハ地方稅ヲ以テ之ヲ施行シ其ノ費用ヲ市町村ヨリ追徴スルコトヲ得

第十二條 市町村長ノ指定シタル期間ニ種痘ヲ受ケサル者又ハ醫師ノ檢診ヲ受ケサル者若ハ痘瘡ノ採收ヲ拒ミタル者又ハ醫師ニシテ第九條ノ届出ヲ怠リタル者ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第十三條 十六歲未満ノ者或ハ癩癧、白癩、瘡癰等ノ者ハ其ノ戶主後見人又ハ雇主等現ニ本人ヲ監督スル者ニ於テ其ノ責ニ任スヘシ

第十四條 監獄、貧民院、育兒院、感化院等ニ入院ノ者或ハ學校、家塾、工場、船舶等ニ寄宿ノ者ニ就テハ該首長ニ於テ其ノ責ニ任スヘシ

附則

第十四條 此ノ法律中ノ規定ニシテ其ノ準用シ得ヘキモノヲ除ク外北海道沖繩縣及市制町村制ヲ施行セサル地ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

第十六條 明治十八年第三十四號布告種痘規則ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

(政府委員松平正直君演壇ニ登ル)

○政府委員(松平正直君) 本案ヲ提出シマシタ所以ハ種痘規則、種痘ヲ致スベキ規則ハ既ニ定リ居リマスルケレドモ如何セン未ダ普及完全ヲ見ルニ至リマセヌ、三十年頃ノ……一昨年明治三十年ニハ四万三千人餘ノ患者ガアリマス、内一万二千以上ノ死亡ヲ得タト云フ如キ有様デアリマシテ、實ニ益ハ種痘ノ普及完全ハ甚ダ行居兼ネテ居リマス、全ク是ハ種痘ト云フモノ、利益ハ知ツテ居リマスルガ、一面ニハマダ此法律上ニ於テ届キ得ラレヌ規則デアリマスルカラ今般改正ヲシテ之ニ強制ノ力ヲ與ヘテ完全ニ至ラシムル……種痘ノ功ヲレテ完全ナラシメタイト云フニ外ナラヌ次第デアリマス、ドウゾ御協贊アツテ成立致シマスヤウニ希望致シマス

○高木兼寬君 政府委員ニ質問致シタウゴザイマス、ドウカ是ハ明治二十八年一月ニ種痘法案ヲ提出シタリマシタ時分ニ政府ハ內務次官ナル政府委員ヲ以テ御答辯ニナリマシタカラドウカ內務次官ヨリ御答辯ニナルコトヲ希望致シマス、唯今ノ御提出ノ理由ヲ御述ニナツタ所ニ依リマシマスレバ政府ガ明治二十八年一月ニ此議案ニ於テ答辯サレタ所ト全ク矛盾シタル所ノ御說明ニナツテ居ルヤウデアリマス、第一此理由書カラ申上ゲマス……現行種痘規則ヲ按スルニ明治十八年ノ制定ニ係リ種痘施行ノ責任者ヲ規定セス種痘期限ヲ定ムルコト簡易ニ失シ且一定ノ痘苗供給法ナキカ故種痘普及ノ目的ヲ實行スル上ニ於テ頗ル至難ヲ感セリ……ト書イテアリマス、此コトハ明治二十八年ノ一月當議場ニ於テ斯様ナル不便ガアルト云フコト縷々陳辯致シタノデアリマスケレドモ政府ニ於キマシテハ現行規則デ十分種痘ヲ普及セシムル目的ガ付イテ居ル、是マデノ經歷ニ因ツテ見レバ未種痘者ノ數ハ年々減少致シテ前ニハ百分

ノ二十二乃至二十四デアッタモノガ百分ノ六分六厘マデモ減少シテ來タカラ
現行規則決シテ差支ナイト云フコトデアリマシタガ唯今御述ニナツタ
所ニ依リマスト明治三十年ニハ一万余ノ天然痘死亡者ガ出來タト云フ御話
デアリマス、之ニ因ツテ見マスルト明治二十八年度ニ十分政府デハ出來ルト
云フ御見込デアッタケレドモ政府ノ見込通行カナカッタカラ之ヲ出シタト云
フ御趣意デアリマス、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、尙ホ第二段ニ參リマ
シテ「昨三十年傳染病豫防法ヲ制定シ種痘費用ヲ以テ全ク市町村ノ負擔トナ
シタルニ拘ハラス其執行上ニ就テハ現行法中何等規定ナキカ爲費用ハ市町村
ニ屬シテ事業ノ執行ハ之ニ伴ハス故ニ豫防法ノ規定モ其實行ヲ完フルコト
能ハサルノ遺憾アリ」トアリマス、是ハ傳染病豫防法ノ第二十一條ノ二號ニ
規定シテアルノヲ示サレタモノト思ヒマス、第二號ハ成文ハ記憶シテ居リマ
セメケレドモ「市町村ニ於テ施行スル清潔方法消毒方法及種痘ニ關スル諸
費」ト書イテアルヤウニ思ヒマス、之ニ附イテ三十年三月十一日ニ政府委員
ノ答辯サレタニハ此種痘ニ關スル費用ハ全ク貧民ニ限ルト云フ答辯デアリマ
シタ、然ルニ理由書ニ據ツテ見マスレバ種痘ハ市町村内ノ人民ハ貴賤貧富ヲ
問ハズ市町村ノ負擔ヲ以テスルモノト御解釋ノヤウニ見エマス、政府ハ彼ノ
傳染病豫防法第二十一條二號ハ三十年三月十一日當議場ニ於テ答辯サレタ所
トハ解釋ヲ異ニシテ居リマス、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、第三ニ此法案
ニ於テハ第一期云々トゴザイマス、此年限モ一定ノ年限ヲ定メルニ如クハナ
イト云フコトハ固ヨリ本員等信ズル所デアリマス、然レドモ提出シタ頃ニ委
シク述べタ積デアリマスガ是ニモ政府ハ反對サレタデアリマス、然ルニ今
日ノ此法案ハ之ヲ確定スルガ宜イト云フコトハ即チ二十八年トハ矛盾シタ
明ダト認メマスガ是ハ如何ナ譯デアリマス、其次ニ於キマシテハ官立痘苗
製造所ノコトデアリマス、二十八年ノ答辯ニハ軍國多事ノ際デアアルカラ十
圓ノ官立ノ製造所ヲ存エテ痘苗製造ニ無代價デ配布スルト云フコトハ出來
ナイト云フ政府ノ御意見デアリマシタ、然ル所明治三十年ニナリマシテ官立
痘苗製造所ノ必要ヲ認メラレテ御設置ニナリマシタ、之ニ附イテハ政府ハ取
締法ヲ設ケテ嚴重ニスレバ官立痘苗製造所ヲ設置スルノ必要ハナイト云フ答
辯デアッタニ拘ラズ三十年ニ痘苗製造所ヲ存ヘラレタコトハ是ハ軍國多事デ
ナクテ國庫ニ餘アッタメテ存エルコトデアレバ別段デアリマスガ、サウデハ
多分ナカラウト思ヒマス、此度ノ法案中ニハ無償ニテ痘苗ヲ配布スルト云フ
コトガゴザイマス、今日ハ費用ハ餘アルトキデゴザイマセウカ、承ル所ニ據
リマスレバ國庫ノ歲入ハ大ニ不足ヲ告ゲテ居ル、不足ヲ告ゲテ居ルニ拘ラズ
無償ニテ配布スルハ如何ナモノデゴザイマセウカ、二十八年ニハ不足デア
タカラ出來ナカッタニ當年ハ無代價デ痘苗ヲ配布スルト云フ案ヲ提出シタ
ノハドウ云フ譯デアリマス、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、以上先ヅ御答辯
ヲ願ヒタウゴザイマス

○政府委員(松平正直君) 唯今高木君ノ御尋ニ御答ヲ致シマスルガ、二十八
年ニ御答ヲシタノト今ト變ルト云フノガ其要點ト思ヒマスガ、成ル程二十八
年アタリデハ患者ノ數モ少ク死亡者ハ二百六十八人位シカナカッタデアリ
マス、其時ノ内務省ノ考デハ至極其邊ノ考ガ相當デアッタカラ其御答ヲシタ
ノデアリマセウ、其後二十九年三十年ト經過スル間ニ政府モ此痘苗ヲ無償デ
配布スルガ宜イト云フ考、又此法律モ種痘ノ期ヲ定メルガ宜イ、又其外今御
尋ノ廉ハ今日マデノ實地經驗上カラ遂ニ今日ノ場合ニ進行シタノデアリマ
ス、斯ウ云フコトハ情勢ノ進ムト伴フテ進行スルコトハ免レヌコト決シテ
前日ノ答辯ガ非ニアラズ今日ノ答辯ガ是ニアラズ其時ノ情勢ニ依リ進行ヲ
促シ來タモノト考ヘマス、今日ハ此提出案ヲ以テ政府ハ相當ナルモノト考
ヘル次第デアリマス、ドウゾ其邊ヲ……

○高木兼寛君 モウ一應伺ヒマス、唯今ノ御答辯ニ據リマスト二十八年ニ於
キマシテハ政府ハソレダケ見エナカッタト云フ御答辯デアリマスナ、見ル目
ガ政府ニハナカッタト云フ斯ウ云フ御答辯デアリマス

(政府委員松平正直君演壇ニ登ル)

○政府委員(松平正直君) 目ノ有ル無イヲ申シタノデハナイ、其當時ハソレ
デ相當ナリト認メマシタノデ、ソレカラ以上ハアナタ方ノ御判斷ニ任セマス
カラ、ドウゾ宜シク……

○辻新次君 チョット質問ガアリマス、此第五條ノ二項ニ「市町村ニ於テ施
行スル種痘ニ要スル痘苗ハ官立痘苗製造所ヨリ無償ニテ配布スヘシ」トアリ
マスガ其市町村デナイ一個ノ醫者ガ種痘スル痘苗ハ無償デナク價ヲ取ルノデ
スカ、ソコヲ一ツ御開申シタイ、ソレカラモウ一ツハ「市町村長ハ種痘簿ヲ
調製スヘシ」トアリマスガ、是ハ何分カ給料ダトカ手當ダトカ云フモノデモ
遣ルヤウニ見エマスガ、然ルトキニ種痘サレタ者カラ種痘ニ附イテノ費用
ハ少シモ受ケナイノデアリマス、矢張本人カラシテ種痘ノ料ヲ取ルノデア
リマスガ、之ヲハツキリ御開申シタイ、所デ市町村ノ種痘醫カラシテ種痘サ
レタ者カラ種痘料ヲ取ラヌト云フコトデアレバ一個ノ醫者ノ種痘シタノハ種
痘料ヲ取ルノデアリマス、チョット其所ガハツキリシテ居ラヌヤウデスカ
ラ其邊ヲ一應御尋致シマス

(政府委員長谷川泰君演壇ニ登ル)

○政府委員(長谷川泰君) 唯今ノ辻君ノ御問ニ御答致シマス、チョット伺
ヒマスルガ第一ノ御尋ハ第何條デアリマスカ
(辻新次君「第五條デアリマス」ト述フ)
第五條「市町村ニ於テハ……」

(辻新次君「一個ノ醫者ニハ無償デナイヤウニ見エマスガ……」ト述フ)

御答申シマス、矢張唯今ノ御尋ノ通デアリマス、市町村ガ其市町村ノ種痘者
ニ對シマシテ強制種痘ヲ致シマスル場合ニハ現行傳染病豫防法ノ第二十一條
ノ二項ニ據ツテ市町村ガ其經費ヲ出スコトニナツテ居リマス、此法ニハ無
償價トシテヤリマス、一個人ニハ無償價デハヤリマセヌ
(辻新次君「チョット御尋シマス、金ヲ取ツテモヤリマセヌカ」ト述フ)
金ヲ出セバヤリマス、ソレカラ其次ノ御問ハ
(辻新次君「次ハ市町村ノ醫者ノヤツタノハ種痘料ヲ取ルカ取ラヌカト
云フノデ……」ト述フ)

ソレハ其町村ガ經費ヲ出シテ致シマスルノデアリマス、無論其貧窮人カ
ラハ取ラヌコト、存シマスルガ、良民ニ對シテハ市町村ノ費用ト存シマス、
ソレカラ種痘云々ノ御問デゴザイマスルガ、種痘醫ニ對シマシテノ御問
ハ……

(辻新次君「手當ヲ遺ルノデスカ、ドウデスカ常置ノ種痘醫ハ……」ト述フ)

其種痘醫ハ其種痘ノトキニ幾ラカ若干ノ種痘料ヲ遺リマス町村モアリ、或ハ平素幾分カ入費ヲ遺ルト云フヤウナコトガアラウカト存ジマス、ソレハ町村ノ自治ニ任セル積デゴザイマス、右様御了承ヲ願ヒタウ存ジマス
○三宅秀君 追々先刻カラノ御説明デ私ノ質問致サウト云フコトモ略々分ッテ参リマシタガ、先刻政府委員ノ御説明ニナリマシタ内ニ種痘ヲ施シタ數ヲ御述ニナリマシタガ、其種痘ヲ施シタ數ト云フモノハ強制種痘ヲ施シタ數バカリデアルカ、或ハ一個ノ醫者ノ所ヘ自由ニ頼ミニ往ッテサウシテ種痘エテ貰ッタ數モ其内ニ這入ッテ居リマス、此度之ヲ此行政ノ力ヲ持タシテ此實行スルト云フノハ全ク強制ノ方バカリニナッテシマッテ、醫者ト其種痘ヲ受ケル者トノ間ノ約束デ成立ッタ所ノ種痘ト云フモノハ即チ自由種痘トデモ申シマスルカ、其自由種痘ト云フモノハ此強制種痘ノ方ガ行レルト云フト自由種痘ノ方ハ却テ數ガ減ルヤウニ思ハレマスガ、今日マデノ此自由種痘ト強制種痘トノ數ガ別ッテ御調ニナッテ居リマス、是マデハ強制種痘バカリヲ全ク御認ニナッテ居リマス、其邊ヲ……

○政府委員(長谷川泰君) 唯今ノ三宅君ノ御問ニ對シテ御答ヲ致シマスガ、曆年ノ種痘ヲ受ケマシタ數ノ表ガアリマス、是ハ此強制種痘ノ非強制種痘ノ表デアリマスガ、實ハ内譯ハ明瞭ニ分ッテ居リマセヌ、右様御了承ヲ願ヒタウゴザイマス

○高木兼寛君 先キニ御答辯ヲ得マシタガ、其内要領ヲ得ナイ所ガゴザイマス、今一應伺ヒタウゴザイマス、此傳染病豫防法ノ第二十一條「左ノ諸費ハ市町村ノ負擔トス、一、豫防委員ニ關スル諸費、二、市町村ニ於テ施行スル清潔方法、消毒方法及種痘ニ關スル諸費」此種痘ニ關スル諸費ノ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、是ガ三十年ニ御答辯ニナッタ所ト理由書トハ意味ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、成ル程世運ノ進ムニ從ッテ便宜事ヲ處スルニハ相違ゴザイマセヌケレドモ、法律ノ意味ガ年ガ異ナルニ依ッテ次イデ違フト云フコトハ甚ダ不都合ト存ジマス、今一應御説明ヲ願ヒタウゴザイマス

(政府委員長谷川泰君演壇ニ登ル)

○政府委員(長谷川泰君) 唯今ノ御問ニ對シテ御答申上デマス、唯今ノ御精神ヲ今一應伺ヒタウゴザイマス

○高木兼寛君 宜シウゴザイマス、三十年三月十一日ノ速記ヲ御取調ニナリマシタラバ本員ガ政府委員ニ質問シタル其答辯ガ明瞭デアリマスガ、ソレニ種痘ニ關スル諸費ハ貧民ニ限リ市町村ガ負擔スルト云フコトデアルト政府ハ答辯サレテアルガ、併ナガラ此理由書ニ依ッテ見ルト市町村ガ悉ク其費用ヲ負擔スルヤウニ見エマス、ソレデ三十年ニ御答辯ニナリマシタ通ノ意味デ此理由書ヲ書イテアリマス、又ハ一通讀ンダ所デ見ルト市町村ノ人民ハ貴賤貧富ヲ問ハズ市町村ノ費用ヲ以テ種痘シテ貰フコトガ出來ルノデアリマスカ何ンデアリマスカソレヲ承リタイ

○政府委員(長谷川泰君) 御答ヲ致シマスガ矢張三十年ノ當時政府委員ガ御答辯申上デマシタコト、少モ違ハヌ心得デゴザイマス、ソレデ此傳染病豫防法ノ第二十一條ノ第二項ハ唯今御述ベニナリマシタ通デ、此種痘ニ關スル

諸費ハ市町村ガ支出ヲ致シマスルデアリマスケレドモ、其内ニ無論貧民ハ無代價デ種痘致シマスル存ジマスルデゴザイマスガ、其内富シデ居リマスル者ヨリハ幾分カ經費ヲ取リマスルヤウニ市町村ガスルダラウト思ヒマスガ、其支出ヲ致シマスル……收入ノ方ヘ這入リマスルカラ、其邊ハ市町村ノ適宜ニ任セル積デアリマス、今代價ヲ其民ノ富シデ居リマスル者ガ種痘料ヲ拂フモノト致シマスルデ、ソレデ此方ハ支出致シマスル……收入ノ方ヘ這入ルノデアリマス、ソレデ少モ違ハナイト思ヒマス、ソレデ矢張三十年ニ政府委員ガ御答申上デマシタ精神ト今度ノ理由書ハ別ニ違ハナイ積デアリマス、右様御了承ヲ願ヒタウゴザイマス

○男爵船越衛君 第五條ニ「市町村ハ種痘醫ヲ常置シ地方長官ノ指示ニ從ヒ」云々トアリマス、此市町村ガ種痘醫ヲ常置シテ置カナイ所ハ何カ強制デモスルトカ罰デモアルト云フコトデナイト、或ハドウモ此醫者モ居ラヌ町村ハナイトモ計ラレマセヌカラサウ云フ所ハドウ致シマス、ソレカラ五條ニ種痘製造所ヨリ無償デ此種痘ヲ配付スルト云フガ此價ハ凡ソドノ位ノ豫算デゴザイマス、其二箇條ヲ……

(政府委員長谷川泰君演壇ニ登ル)

○政府委員(長谷川泰君) 唯今ノ御尋ニ對シテ御答致シマスルデゴザイマスガ、第五條ノ種痘醫ヲ常置云々ノ點デゴザイマスガ、要スルニ市或ハ町ニ於キマシテハ學校醫等ノ設ガアリマス、カラスウ云フ醫者ガ兼テ種痘ヲスル、東京市ハ市ノ醫者デスルト思ヒマス、村落ニ至リマシテハ或ハ甲ノ村ノ醫者ガ乙ノ村ノ種痘醫ヲ兼ネマスルヤウナコトガアラウト思ヒマス、第二ノ無償價デ配付ヲ致シマスル金高ハドレダケカト云フ御尋ニ對シテ御答致シマス、是ハ凡ソ二萬九千圓程ノ收入ガ減リマスルコトニ相成リマスルデアリマス、其痘苗ノ具數ハ凡ソ五十七萬位ト思ヒマス、右様御了承ヲ願ヒタウゴザイマス

○男爵船越衛君 サウスルト、種痘醫ノ居ラヌ所ハ先ヅ隣村ノ醫者ガ兼ネマスルデアリマス

○政府委員(長谷川泰君) 要スルニソレヨリ仕方ガナカラウト思ヒマス

○男爵船越衛君 ソレカラ今ノ御答ニ一萬何千圓デスカ

○政府委員(長谷川泰君) 凡ソ五十七萬具ニ計算ヲ致シマスル、痘苗ノ價ガ春秋二季ニ強制シマスルトサウスルト丁度ガ現行ノ拂下ノ價ニ積ルト二萬九千圓程ノ痘苗ノ製造所ノ收入ガ減シマスルコトニ相成リマス

○男爵船越衛君 是カラソレダケ入費ガ増シマスノデアリマセヌ

○政府委員(長谷川泰君) イエ増シマセヌ支出ハ少シモ違ヒマセヌ唯國庫ノ收入ノ方ガ無償價デ市町村ニ配布致シマスル五十七萬具是バカリニ對シテ二萬九千圓程減リマスコトニ相成リマス、右様御了承ヲ願ヒマス

○山中幸義君 チョット政府委員ニ御尋致シマス、先刻高木君カラ御尋ニナリマシタ自由種痘ト強制種痘ノ區別ニ附キマシテ政府委員ノ御答ガ甚ダ不明瞭ト思ヒマス、政府委員ノ御答デハ所謂自由種痘トモ云フベキ所ノ勝手ニ本人が種痘醫ニ就イテ種痘ヲスルコトハ御許ニナラヌヤウニ承リマスガ果シテ左様デアリマス、其廉ヲ明ニ承リタウゴザイマス、ソレトモウ一點ハ痘苗製造所デゴザイマス現今ノ製造所ハ東京大阪ノ二箇所カト思ヒマス、是マデノ經驗ニ依リマスルト臨時種痘ヲ施行スル際ニ於テ一時ニ請求ヲシテ行キマ

スルト代價ヲ以テ買受ケマスニ於キマシテモ製造所カラ供給スルコトガ出來
ナクシテ實ニ全國ノ町村デハ困ツテ居ル、内務大臣カラ時期ヲ定メテ地方長
官デハ時期ヲ定メテ種痘ノコトヲ命ゼラレバ痘苗ガナイ、已ムヲ得ズ私設
ノ製造所カラ不良ナル痘苗ヲ取ツテ種痘ヲ施サナケレバナラヌト云フ實際デ
アリマス、今後斯ノ如ク致シマシタ以上ハ必ズ無代價無償ノ痘苗ヲ得テ種痘
ヲスルト云フコトハ各町村希望ヲ致シマスルデゴザイマセウ、サウシマスレ
バ臨時種痘ナリ定期種痘ナリ一時ニ製造所ニ向テ請求ヲ致シマス其際ニ當
テ數百萬ノ痘苗ヲ一時ニ供給スルコトガ出來ルヤ否ヤヲ氣遣ヒマスルガ政
府ハ之ヲ一時ニ供給スルコトガ出來ルト云フ御考デゴザイマス、開ク所ニ
依レバ痘苗ナルモノハ何日間ト云フ期限ガアツテ其一定ノ期限ヲ經過スレバ
腐敗スルト云フコトヲ承テ居リマス、左様ナ場合ニ於キマシテハ或ハ二箇
所ノ製造所デハ供給スルコトガ出來ヌト云フヤウナ不幸ヲ見ハセヌカト私ハ
思フマス、併シ其邊ハ如何ナル御胸算デアリマスルカ一應承ツテ置キタウゴ
ザイマス

(政府委員長谷川泰君演壇ニ登ル)

○政府委員(長谷川泰君) 唯今ノ御尋ニ對シマシテ御答申上ゲマス、第一ノ
御尋ニ對シテ申上ゲマスガ盡ク強制致シマスルノデ町村ガ町村ノ衛生行政事
務トシテ其町村内ノ者ハ盡ク強制サセルノデ自由種痘ハハナイノデアリマ
ス、右様御了承、第二ノ御尋ニ需要供給ノコトハ至極御尤ノ御問デアリマ
スガ此法律ガ發布ニナリマスレバ施行細則ノ勅令或ハ省令ヲ發布致スヤウニ
ナリタイト思ヒマス、左様致シマスレバ唯今ノ御尋ニナリマシタコトハ痘苗
ノ有效期間ハ極ツテ居ルモノデアリマスカラ凡ソドノ縣ノドコカラドコマデ
ハ何日カラ何日マデト、是ハ氣候ガ違ヒマスカラ其方法ヲシツカリ定メマシ
テサウシテ配布ノ時日受取りマスル時日、期限ヲ定メマシテ需要供給ニ差支
ナイヤウニ致シマス考デアリマスカラ不都合ノコトヲ生シマセヌヤウニ致シ
マス積デアリマス

○山中幸義君 第一ノトコロニ附キマシテモウ一應御尋シマスガサスレバ所
謂自由種痘トデモ名ヲ附ケマスカ名稱シマスカ其方ノ種痘ハ一切御許ニナラ
ヌト云フノデアリマス

○政府委員(長谷川泰君) 御答致シマス、此法律ノ精神ニ依リマスレバ其町
村内ノ種痘ヲ受ケマス者ハ町村ガ種痘セシムルノデアリマスカラ自由種痘デ
ナイノデアリマス

○山中幸義君 ソレハ分ツテ居リマスガ自由種痘ハ御許ニナラヌノデアリマ
スカ自由種痘ハ致シテモ差支ナイノデアリマス

○政府委員(長谷川泰君) 自由種痘ニハ幾分カハナルダラウト考ヘマス、例
ヘバ其時ニ當病事故デ召集ニ應ズルコトガ出來ヌ者ハ次ノ種痘時期マデノ間
ニ本人ノ都合ニ依ツテ然ルベキ種痘醫ニ就イテ種痘ヲシマスコトモアルト存
シマス、ソレニハ種痘ノ名簿ヲ明ニシテサウ云フ者ハ記入ヲ致シテ臺帳ヲ明
ニシタイ考デアリマス

○山中幸義君 モウ少シ確メテ置キタイコトハコノ技術ノ人ニ承リマスレバ
種痘ト云フモノハ大事ナモノデアルト承ツテ居リマス、ト云フモノハ種痘ヲ
スル際ニ於テ其種痘ヲ受ケル兒童本人ニ於テ不健康ナ體デマダ表ニ發セヌ

所ノ病デモアルカト云フコトヲ診斷ヲ遂ゲタ上デ種痘ヲセネバ種痘ヲシタ
メニ種々ナル病ヲ惹起シテ遂ニ其健康ヲ害スル恐ガアルト云フコトヲ承ツテ
居リマス、果シテ其事ガアルト私モ考ヘテ居リマス、サスレバ此自由種痘ヲ
判然ト御許ニナツテ居ルヤ否ヤヲ此案ヲ議スルニ先ツテ確メテ置クガ必要デ
アラウト思ヒマス、田舎ノ種痘醫ハ御存ナモノデアリマス、或ル部分ノ人デ
アレバ各町村デ種痘醫ニ就イテ種痘ヲ受ケルコトヲ快シトセズレテ知
ラズ識ラズ法律ニ反イテ時期ヲ愆ルト云フヤウニ殊更ニ種痘ヲ受ケヌデ居
ト云フヤウナ者ガアル、サウ云フ場合ニ於テハ甚ダ困ルコトガアリハシナイ
カ、サスレバ法律ハ前ニ深く慮ツテ置イテ自由種痘モ御認メニナツテ許シテ置
クガ必要デハナイイカト考ヘマスガ政府ハ其邊ハチツトモ構ハズ必ズ強制種痘
ヨリ外サセヌ常置種痘醫ノ外ノ者ニハ種痘ヲサセヌト云フコトニ御極ニナリ
マスカラコト判然ト承ツテ置キタイ

○政府委員(長谷川泰君) 御答致シマス、唯今ノ御問ノコトハ第七條規定
シデアリマシテ患者疾病事故ノ場合ハ猶豫スルコトガ出來ルコトニナツテ居
リマス、サウ云フニ致シテ次ノ種痘期マデニ種痘者自ラガ然ルベキ種痘醫ニ
就イテ受ケルコトガアラウト思ヒマス、サウ云フ場合ニハワレハ必ズ臺帳ニ
記入シテ種痘醫ト云フコトニシタイト云フ考デアリマス、其邊ハ施行細則ヲ
以テ極メタイ考デアリマス

○山中幸義君 モウ一遍今日ノ場合デアリマシテハ此種痘醫以外ノ者モ或
場合ニ於テ實際ニ於テハヤツテ居ルノデアリマス、法律ガサウナツテ居リマス、
現在デハ……此法律ガ出マシテ種痘醫ノ外ハ種痘醫ト云フ名稱ヲ下シタ町村
ノ町村醫、此以外ノ醫者ニ種痘ヲサセナイト云フコトデアツテハドウデアラ
ウカト思ヒマスガ、サセナイト云フ意味デゴザイマセウカラソレヲ判然ト承
テ置キタイ

○政府委員(長谷川泰君) 御答申上ゲマス、第七條デ病氣ヲ猶豫シテヤリマ
スル場合ガアツタナラバワレハ種痘醫デナクテモ……町村デ命ジタ種痘醫デ
ナクテモ然ルベキ種痘ニ精シイ者デ熱達シテ居ル者デアリマスレバ種痘者ハ
ソレニ就キマシテ、種痘ヲ致シマスルデゴザイマセウカラサウ云フノハ別ニ
法律デ禁ジマセヌ

○山中幸義君 常置種痘外デモ或ル場合ニハ構ハヌト云フコトデゴザイマス
○政府委員(長谷川泰君) 左様デゴザイマス

○山中幸義君 分リマシタ

○高木兼寛君 承レバ承ル程分リマセヌカラ尙ホ承ラネバナリマセヌ、唯今
ノ御答辯ニ依ルト第五條ニ據リマシテ一地方長官ノ指示ニ從ヒ定期又ハ臨時
ノ云々トゴザイマス、定期ノ種痘ヲスルト云フコトニ附キマシテハ來ル幾
日ニ種痘ヲスルニ據ツテ小兒ヲ連レテ來ルヤウニト達ヲ出シタ場合ニ於キマ
シテ若モ召集ヲ受ケタ者ガ外ノ醫者ニ種痘ヲシテ貰フト云フヤウナコトガ出
來タトキニドウナサル御見込デスカ

○政府委員(長谷川泰君) 御答致シマス、唯今ノ御尋ノヤウナ場合ハナイ
トハ申サレマスマイガ極テ少數デ實際ハ無論ナカラウト信ジマス

○高木兼寛君 本員ナドハ決シテサウ思ヒマセヌ、アノ御醫者様ニシテ貰フ
ヨリモ此醫者ニシテ貰ヒタイ、イッソスルナラ此人ニ願ヒタイト云フヤウナ

譯デ他ノ人ニ依頼スルト云フコトガアラウト思ヒマス、ソコハ意見ノ異ナル所デアリマスガ、モウ一ツ伺ヒタイノハ先キ御答辯中ノ費用ノ點デアリマスガ、無代價痘苗ヲ配付スルト云フコトニ致シマシテ先ヅ召集ニ應ジ種痘ヲ受ケルモノトシテ受ケタ所デ是レキハ小兒ハ自ラ種痘費ニ堪ユルモノデアリカラ種痘料ヲ出サシテ宜シイト云フヤウナ判定ヲ市ナリ町村長ガ定メテソレデ堪ユル者カラシテ手術料ナリ其他ノ費用ヲ徴收スルコトニナルノデアリマスガ

○政府委員(長谷川泰君) 御答申シマス、ソレハ此處デ判然答ハ出來兼ネマス、ソレハ町村ノ各、適宜ダラウト考ヘマス、盡ク全村ノ者ガ無月謝教育ノ如ク貧富ノ別ナク盡クヤルト云フ町村モアラウシ、又或ル町村ハ若干ノ富ンデ居リマスル者カラ代價ヲ徴收致シマシテ收入ノ方ヘ入レルカモ知レマセヌ

○高木兼寛君 結局曖昧ノ中ニ付シテ各町村ノ適宜ニ任カスト云フ政府ノ御意見デアリマスガ

○政府委員(長谷川泰君) 丁度今ノ傳染病院ノ隔離病室或ハ傳染病室等ノ傳染病患者ヲ入レルヤウナモノデアラウト信ジマス、ソレデ多數ハ無謝儀デアリマスケレドモ幾分カノ者ハ即チ入院料ヲ取リマスヤウナコトモアリマシテ皆町村ノ適宜ニナッテ居リマス、左様御了承ヲ願ヒタウゴザイマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 御質問モ大抵盡キタラウト思ヒマスカラ委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵平松時厚君 此法案ノ委員モ議長ニ御委託シタイ

○子爵堀田正義君 本案ノ特別委員ハ前案ノ海港檢疫法案ト同一委員ニ付託ニナルコトヲ希望致シマス

○伯爵勸修寺顯允君 堀田君ニ賛成

○議長(公曾近衛篤磨君) 前議案ト同一委員ニ付託スルト云フノニ賛成ガアリマスガ之ニ御異議ガナクバ……

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(公曾近衛篤磨君) 然ラバ左様致シマス、第九、供託法案、政府提出、第一讀會

(小原書記官朗讀)

供託法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十一年十二月二十二日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋
大藏大臣伯爵松方正義
司法大臣 清浦奎吾

供託法

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

第一條 法令ノ規定ニ依リテ供託スル金錢及ヒ有價證券ハ金庫ニ於テ之ヲ保管ス

第二條 金庫ニ供託ヲ爲サント欲スル者ハ大藏大臣カ定メタル書式ニ依リテ供託書ヲ作り供託物ニ添ヘテ之ヲ差出タスコトヲ要ス

第三條 金庫カ金錢ノ供託ヲ受ケタル翌月ヨリ拂渡請求ノ前月マテ大藏大臣カ定メタル利息ヲ拂フコトヲ要ス

第四條 金庫ハ供託物ヲ受取ルヘキ者ノ請求ニ因リ供託ノ目的タル有價證券ノ償還金、利息又ハ配當金ヲ受取リ供託物ニ代ヘ又ハ其從トシテ之ヲ保管ス但保證金ニ代ヘテ有價證券ヲ供託シタル場合ニ於テハ供託者ハ其利息又ハ配當金ノ拂渡ヲ請求スルコトヲ得

第五條 司法大臣ハ法令ノ規定ニ依リテ供託スル金錢又ハ有價證券ニ非サル物品ヲ保管スヘキ倉庫營業者ヲ指定スルコトヲ得

倉庫營業者ハ其營業ノ部類ニ屬スル物ニシテ其保管シ得ヘキ數量ニ限リ之ヲ保管スル義務ヲ負フ

第六條 倉庫營業者ニ供託ヲ爲サント欲スル者ハ司法大臣カ定メタル書式ニ依リテ供託書ヲ作り供託物ニ添ヘテ之ヲ交付スルコトヲ要ス

第七條 倉庫營業者ハ供託物ヲ受取ルヘキ者ニ對シ一般ニ同種ノ物ニ付テ請求スル保管料ヲ請求スルコトヲ得

第八條 供託物ハ供託者カ指定シタル者又ハ法令若クハ裁判ニ依リテ定マリタル者ニ之ヲ還付ス

供託者ハ民法第四百九十六條ノ規定ニ依レルコト、供託カ錯誤ニ出テシコト又ハ其原因カ消滅シタルコトヲ證明スルニ非サレハ供託物ヲ取戻スコトヲ得ス

第九條 供託者カ供託物ヲ受取ル權利ヲ有セサル者ヲ指定シタルトキハ其供託ハ無効トス

第十條 供託物ヲ受取ルヘキ者カ反對給付ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ供託所ニ其給付ヲ爲シ又ハ供託者ノ書面若クハ裁判ニ依リ其給付アリタルコトヲ證明スルニ非サレハ供託物ヲ受取ルコトヲ得ス

附則

第十一條 本法ハ明治三十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十二條 本法施行前ニ供託シタル金錢ニハ其施行ノ月ヨリ拂渡請求ノ前月マテ第三條ノ利息ヲ附スルコトヲ要ス

第十三條 第四條、第八條及ヒ第十條ノ規定ハ本法施行前ニ供託シタル物ニモ亦之ヲ適用ス

第十四條 明治二十三年勅令第四百五十五號供託規則ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

(政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(梅謙次郎君) 此供託法案ハ前期ノ議會ニ提出致シマシテ既ニ本院ノ議ヲ經マシテ衆議院ヘ回リマシテカラトウノ議ニ至リマセヌデアラマデゴザイマス、就キマシテ其後政府ニ於テ調査ヲ致シマシテ多少ノ修正ヲ加ヘマシタケレドモ大體ニ於テハ餘リ變ル所ハアリマセヌデアリマスカラシテドウカ速ニ議決アラント希望致シマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 御發議ガナクバ右讀案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵小笠原壽長君 特別委員ノ選舉ハ議長ニ御委託致シマス
○子爵錦織教久君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長委託ニ御異議ナクハ其通ニ致シマス
(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 郵便條例中改正法律案、政府提出、第一讀會

(小原書記官朗讀)

郵便條例中改正法律案

右
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十一年十二月二十二日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋
逕信 大臣子爵芳川顯正

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

郵便條例中改正法律案

第十五條中「長一尺二寸幅八寸」ヲ「長一尺三寸幅八寸五分」ニ改ム
第三百一一條及第三百二十三條中「三十圓」ヲ「五十圓」ニ改ム

附則

此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

(國務大臣子爵芳川顯正君演壇ニ登ル)

○國務大臣(子爵芳川顯正君) 諸君本案ハ現行郵便條例中ニ規定セラレマシタル郵便物ノ寸尺並ニ郵便爲替金額ノ制限ガ狹小ニ過ギマシテ不便ヲ感シマスルニ依ッテ此制限ヲ擴張致シテ公衆ノ便益ヲ圖ラントスルノデアリマス、即今ノ郵便物ノ寸尺ハ御承知ノ如ク丈一尺二寸幅八寸ト云フヤウナコトニ致シテ置キマシタノガ之ニ附イテ丈一尺二寸幅八寸ト云フヤウナコトニ致シテ最重要ナル蠶卵種ノ蠶紙ノ寸尺ノコトデアリマス、從來民間ノ慣例ニ依リマスト蠶紙ノ丈ハ一尺一寸七八分幅ガ七寸四分五分ト云フモノニナッテ居ルノデアリマス、之ヲ毀損シナイヤウニ郵送致シマスルノニハ相當ノ包裝ヲ施サヌケレバナリマセヌデ、之ヲ十分ニ致シマスルト此制限ノ寸尺デハ頗ル不便ヲ感ズルノデアリマス、當時此不便ヲ感シマスルノハ民間ヨリモ屢々苦情ヲ聞キマシタ當職ノ大臣即チ農商務大臣ヨリモ此制限ヲ擴張致サナクテハナラヌト云フ照會ヲ受ケマシタノデアリマス、當時其協議ハ至極尤ト考ヘマシテ之ニ應ジマセウツシテ評議ヲ盡シマシタガ如何セン從來之ヲ郵送致シマスル器具行囊等ノ寸尺ガ現行法ノ寸尺ニ大抵恰當致シマシタノモノヲ用ヒテ參リマシタノデ一朝ニ之ヲ改致シマスルト數十萬圓ノ費用ヲ要シマスルノデ殘念ナガラ此協議ニ應ズルコトガ出來ナカッタノデアリマス、早晩此要求ハ容レテ改致サナクテハナラヌト考ヘマシタ、故ニ行囊並ニ其器具等ニモ改致ヲ加ヘマシテ即今デハ其制限ヲ擴張致シテモ少モ差支ナイ狀況ニ立至リマシタノデアリマス、之ト同時ニ民間ヨリモ屢々此制限ヲ擴張致シテ貴ヒタイト云フ建議モゴザイマス、即チ此處ニ改正案ヲ草シマシテ一般公衆ノ便益ヲ圖ラウトスルノデアリマス、第二ニハ郵便爲替金額ノ制限デアリマス、御承知ノ如ク即今ノ制限ハ三十圓デアリマス、此現行法ヲ制定致シマシタ以來十

六七年ノ星霜ヲ經過致シマシタガ其間世ノ進運ニ伴ヒ頗ル金融界ニ於テモ變狀ヲ呈シマシタ、當時ノ流通貨幣ノ高ヲ三十年ト比較致シマスルト當時ノ流通貨幣ノ總額ハ殆ド半額デゴザイマス、即チ其倍ニナル位ニ流通貨幣モ増加致シマスルシテ從テ民間ノ取引ニ附キマシテモ三十圓ノ制限デハ極テ過少ナル事情ガアリマス、爾來人口ノ増加事業ノ發達何レモ此趨勢ニ隨伴シテ改正致スノハ必要デアアルコト、存シマスルデ是レ亦民間ノ建議請願等ニ基キマシテ三十圓ノ額ヲ五十圓ニ改メマスレバ即今ノ此經濟界ノ狀況ニ應ジテ頗ル便益ヲ生ジマセウツ存シマス、茲ニ改正案ヲ草シテ提出致シマシタノデアリマス、要スルニ此二條トモ即今ノ狀況ニ照シテハ極テ緊要ナモノト考ヘマスノデアリマス、速ニ審議御協賛アラント切望致シマス

○子爵高野宗順君 質問致シタウゴザイマス何レ御示ニハナリマセウガ元郵便條例ノ第三百三十二條「爲替料ハ驛遞總監之ヲ定メ新聞紙ヲ以テ公告シ及爲替ヲ取扱フ郵便局ニ揭示スヘシ」ト云フコトガゴザイマス、ソレデ何レ其度毎ニ出マスルカハ知レマセヌケレドモ今度ノ改正案ハ元三十圓トアルノ五十圓ニ御示ノ通ニナリマスレバ手數料ハ矢張同額デ元ノ額即チ三十圓ニ附キ十五錢カト思ヒマシタガ五十圓ニナリマシテモ十五錢デゴザイマス、或ハ從テ多少ノ増額ヲ來ス譯デアリマス、カ何レ御示ニハナリマス、カハ存シマセヌガチヨット伺フテ置キタイ

(政府委員久米金彌君演壇ニ登ル)

○政府委員(久米金彌君) 御答致シマス、此爲替料ノコトデアリマス、ハ故ラニ法律ヲ以テ極メル必要ハゴザイマス、故ニ改正法律案中ニモ勿論這入、テモアリマセヌガ丁度今御尋ノゴザイマス、通現行ノ爲替料ハ普通ノ爲替料デゴザイマス、三十圓マデノ分デゴザイマス、十五錢ニナッテ居リマス、今度ノハ上ノ制限ヲ變ヘマシテ四十圓カラ五十圓マデヤレルノデアリマス、カラ四十圓マデハ何ボウ五十圓マデハ何ボウト云フ階段ヲ附ケマシテサウシテソレノ條件ヲ規定致シマス、積デゴザイマス、デ大體ノ爲替料ハ爲換ニ送リマス、高ガ上ルニ從ヒマシテ割合ニ少シ安クナルヤウナ都合デゴザイマス、カラ其ヤウニ規定致シマス、ソレハ此法律ガ通過致シマシタ上デ公布致ス都合ニナッテ居リマス

○子爵堀田正義君 唯今逕信大臣カラ御述ニナリマシタコトニ附キマシテチヨット伺ヒマス、本案ノ通改正ニナッテモ……農商務省カラノ照會ノ通ニ改正ラセントスルモ其費用ガ何十萬ヲ要スルト云フヤウナ場合デアアルカラ應ジラレナカッタガ此度ハ此法律サヘ改正ニナレバ費用ハ格別要ラナイコトニナッタト云フヤウニ伺ヒマシタガ、是ガ改正ニナッテ先ヅ今日此法律ガ改正ニナルモ以降ハ決シテ此改正ニナッテマシタメニ費用ト云フモノガ少モ掛ラナイデ其費用ハイラナイト云フコトニナリマス、併シ多少ソレニ附イテハ此改正ニ附イテ此位ノ費用ハイルト云フコトデアアルノデスカ

○政府委員(久米金彌君) 現在ノ此寸尺ノ物ヲバ俄ニ變ヘマスコトニ致シマス、ソレ一時ニ此行囊ヲ總テノ器具等ヲバ大キクストカソレノ、其改正ヲ致サニヤアナラヌモノデスカ、ソレデ數年前ニ此寸尺ヲ大キクシテ貴ヒタイト云フヤウナコトガアリマシタ時分ニ直ダヤリマス、一時ニ費用ガ掛ラデヤリニク、アッタ、斯ウ云フコトヲ逕信大臣ガ述ベラレタノデアアル、爾來兩三年

定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

(小原書記官朗讀)

關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十一年十二月二十四日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿
關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治三十一年十二月五日

內閣總理大臣侯爵山縣有朋
大藏大臣伯爵松方正義

明治三十年法律第十四號關稅定率法中左ノ通改正ス
第一條ニ左ノ一項ヲ加フ

附屬稅表第一種第十五類ニ屬スル物品ニシテ攝氏溫度十五度ノトキニ於テ原容量百分中酒精ノ容量六十五ヲ超過スルモノハ第六十九號酒精ノ率ニ依リ課稅ス

第五條中第十一號ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
第十二 政府ノ輸入ニ係ル政府ノ專賣品輸入稅表中左ノ通改ム

番號	品名	稅從價率
六九	酒精(アルコール)	二五
三七九	卷煙草及小卷煙草	〇〇
三八〇	紙卷煙草	〇〇
三八一	喫煙草	〇〇
三八二	刻煙草	〇〇
三八四	其ノ他諸製煙草	〇〇
三八八	支那酒	〇〇
三九三	甲 蒸溜シタルモノ	一〇
三九八	乙 釀造シタルモノ	一〇
三九九	清酒(内地釀造類似ノモノ)	一〇
三九九	其ノ他各種ノ蒸溜酒	一〇
三九九	其ノ他各種ノ酒類	一〇

此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 本案ノ提出ニ對シマシテ必要ナル理由ハ主トシテ二ツデゴザイマスルガ第一ニ此度專賣法ノ改正ヲ加フルコトニナリマシテ

ノ間ニ漸次ニ行囊ナリ其外ノ器具ナリト云フモノヲ改正致シテ段々大キク致シテ居マスノデ、唯今デハ一時ニ俄ニ其大キク致シタルスト云フ必要ハナイ、ツレ故ニ此改正案ハ三十二年即チ本年ノ四月一日カラ施行ニナルヤウニナリマスガ是ガタメニ特ニ其費用ヲ要求致スト云フコトハシテナイノデゴザイマス、自然ニ郵便物ノ増シマスタメニ費用モ増加ヲ致シテ要求ヲ致シテアリマスケレドモ特ニ此法律ノ改正ヲ致スニ附キマシテ何ボウウ々々イリマスカラ増加ヲ求メマスト云フコトハ申シテナイノデアリマス

○子爵堀田正養君 器具ノ改良ト云フコトニ附イテノ費用ハ法律ノ改正ノタメニ一切掛ラヌコトニナリマスカ

○政府委員(久米金彌君) 主トシテ行囊デゴザイマスガ囊デゴザイマスガ囊ノ今ノ大キサハ一尺二寸ノ物ガ這入リサヘスレバ宜イヤウニ拵ヘテ置イタ、ツレバ段々ニツレヨリ大キイモノヲ拵ヘテ使イツ、アルノデアリマスカラ此度ノ改正ノタメニ別ニ大キイ囊ヲ拵ヘル必要ハナイノデアリマス、故ラニ拵ヘル必要ハナイノデアリマス

○子爵小笠原壽長君 本員モ一ツ伺ヒマスガ本員モ爲替手數料ニ附キマシテ御尋ヲシヤウト考ベテ居リマシタガ高野子爵カラ御質問ガアリマシテ能ク政府ノ御答辯モ分リマシタガサウシマスルト政府デハ此手數料ノコトニ附イテ當時ハ少モ御考ハナクテ是ガ通過シタ上デ或ハ手數料ノコトナド、云フモノヲ御極ニナルノデアリマスカ、大凡ノ御考ガアルナラバ御示ヲ願ヒタイ

○政府委員(久米金彌君) ハイツレハ其考案ハ既ニアルノデゴザイマスルデ何レ此法案ガ發布ニナリマシタ上ニ公布ニナルデアラウト云フコトヲ先刻申述ベタノデアリマシテ大凡ノ見込ハ附イテ居リマスノデゴザイマス、チヨット申シテ見マセウナラバ通常ノ爲替デゴザイマスルト今日ノ最高ノ即チ三十圓マデト云フモノニ對シテハ十五錢デアル、ツレバツレハ少モ變更ヲ加ヘナイ、四十圓マデノ分ヲ十八錢ト致シマス、五十圓マデニナリマスト二十二錢ト致シマス、是ハ通常ノ爲替ノ方デゴザイマス、電信爲替ト云フモノモゴザイマス、此電信爲替モ大體ハ從前ノ比例ヲ見マシテ矢張四十圓五十圓ト云フ二段ニ附ケマシテサウシテ料金ヲ極メマス、序ナガラ申シテ置キマスガ此電信爲替ハ今日マデノ最高ノ即チ三十圓ト云フ分ハ四十錢デゴザイマスガツレバ四十圓マデノ分ヲ四十五錢トシ、五十圓マデノ分ヲ五十錢ト致ス、斯ウ云フ見込デゴザイマス、又支那ノ上海ヘ參リマス爲替料、是モ特別ノ規定ガ致シテゴザイマスガ是ハ今日ノ三十圓ト云フ最高金ノモノニ對スル爲替料ガ三十錢デゴザイマス、ツレバ四十圓マデニナリマスト四十錢、五十圓ニナリマスト五十錢、斯ウ云フコトニ致ス見込デアリマス、是ハ此法案ガ通過致シマシタナラバ其上デ極メテ公布ヲ致スト云フコトヲ申シタノデアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○子爵錦織敏久君 本案モ委員ハ議長ニ於テ御選定アラントヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長委託ニ御異議ガナクバ其通ニ致シマス、關稅

右貴族院規則第四十二條ニ依リ提出候也

資格審査委員

伯爵 德川 達孝
子爵 山内 豐誠
永井 盛輝
富井 政章

貴族院議長公爵近衛篤磨殿
判決

貴族院ハ茨城縣選出多額納稅者議員荒野由次郎ノ當選ハ無効ニ非スト判決ス

(伯爵德川達孝君演壇ニ登ル)

葉煙草ノ外國ヨリ輸入セラル、モノハ政府ノミ輸入スルト云フコトニナッテ居リマス、ツレハ葉煙草專賣法ノ制定ノ時ヨリ企圖致シマシタコトデゴザイマス、今其改正案ハ衆議院ニ在リマス其爲ニ政府ノ輸入スル葉煙草ハ無稅ニスル、專賣品ハ無稅ニスルト云フコトデゴザイマシテ即チ關稅定率法ニ改正ヲ加フル、今一ツハ既ニ法律トナッテ發布シテ關稅定率法ニ改メシテ關稅法ニ改正ヲ加ヘラレマシテ一般ニ酒稅ノ稅率ヲ高メラレタコトニ因リマシテ殊ニ亞爾蘭保爾ノ處置ヲ致サヌケレバナラス故ニ亞爾蘭保爾ノ關稅率ハ現行四割デゴザイマス、但シ是ハ既ニ御評議ニモナッテ譯デゴザイマス、二倍半ニ上グルト云フコトヲ要スル、但シ是ハ既ニ御評議ニモナッテ譯デゴザイマス、ルガ亞爾蘭保爾ニシテ工業用若クハ醫藥用ニ供セラル、モノハ戻シ稅ヲスルト云フ案ガ既ニ發布ニナッテ居リマス、是ハ一般ニ關稅ヲ上グルト尙ホ其他支那酒ノ如キ多少ノ關稅率ヲ上ゲマシテ此度ノ改正ニ於ケル増稅トノ權衡ヲ得セシムルコトヲ必要ト致シマス、此等ノタメニ此案ハ提出ニナッテ譯デゴザイマス、何分速ニ御協贊ヲ得ンコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議ガナクバ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○男爵南岩倉具威君 本案ノ特別委員モ議長ニ於テ選定セラレンコトヲ……

○男爵中川與長君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長委託ニ御異議ガナクバ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 荒野由次郎君選舉爭訟ノ件、資格審査委員長報告

○伯爵德川達孝君 議長 唯今朝讀ヲ致サセマス

○伯爵德川達孝君 其朗讀ノコトニ附キマシテ一言申述ベテ置キタイ、此報告ノ文ハ大分長ウゴザイマスシ諸君モ既ニ御覽ノコトデゴザイマセウカラ朗讀ハ御省略ヲナスッテ通牒文ノミヲ朗讀ヲ希望シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス……德川伯爵ニチツト御協議ヲシマスガ判決文ハチヨツト讀ンダ方ガ宜カラウト思ヒマス

○伯爵德川達孝君 ハイ判決文ハ朗讀ヲ願ヒマセウ

○議長(公爵近衛篤磨君) 併テ少數者ノ意見ニ附イテノ判決モ朗讀ヲ致シマス

○伯爵德川達孝君 宜シウゴザイマス

貴族院議員荒野由次郎ニ係ル當選無効ノ訴訟ニ關シ本委員會ニ於テ資格審査ヲ終リ別冊ノ通り判決スヘキモノト議決候條此段及御報告候也

明治三十一年十二月二十四日

資格審査委員長
伯爵 德川 達孝

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

判決

貴族院ハ被告荒野由次郎ノ貴族院議員ノ當選ヲ無効ナリト判定ス

原告松村修平ヨリ被告貴族院議員荒野由次郎ニ係ル當選無効ノ訴訟ニ付資格審査委員會ノ報告ニ對スル少數者ノ意見

○男爵渡邊清君 本員ハ審査委員ノ副委員長デアリマシテ、如何ナガラ委員長ノ報告ニ不備ノ所ガアルヤウデアリマスカラ本員ガ代ッテ報告シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 報告デスカ

○男爵渡邊清君 ハイ

○議長(公爵近衛篤磨君) 質問ニ御答ニナッテハ如何デス

○男爵渡邊清君 ソレナラバ私が出マシテ、差向キ其次第ヲ述ベタイノデアリマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) ドウ云フコトデ……

○男爵渡邊清君 御質問ガアレバ承リマス、其質問ニモ答ヘマス主意ヲ述ベマスレバ質問ハ起ッテ来ナイ

○議長(公爵近衛篤磨君) 質問ハ今起ッテ居ルノデス、ソレニ御答ニナッテ宜カラウト思ヒマス、一通リノ報告ハ委員長カラ濟シダノデアリマスカ

○男爵渡邊清君 ソレデハ委員長ニ御答ヲ……

○男爵伊達宗敦君 先程徳川委員長モ御自分ハ御分リニナッテ居ルコトデアルケレドモ他ノ委員ニ専門家モアルコトデアルカラドウカ其人カラ答ヘラレコトヲ希望スルト述ベラレマシタ、勿論他ノ委員カラ代ッテ御述ニナルコトハ出来ルノデアリマスガ、今西村君カラ御質問デアリマスカラ願ハクハ渡邊男爵ナリ其他ノ委員ノ中カラ之ニ對シテ御答辯ニナルヤウニ願ヒタイト思ヒマス、ナゼト云フニ徳川伯爵カラ他ニ譲ッテ居ラル、コトデアリマスシ

餘リ屢々委員長ヲ煩スノモ如何デアリマスカラ私ハ渡邊男爵ナリ他ノ方カラ御答ニナルヤウニ願ヒタイト思ヒマス

○男爵渡邊清君 私ガ述ベマスト自然御質問ハ消エマス、尙ホ又御質問デアレバ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 答辯ヲ御述ニナレバ消エルコトハ分ッテ居リマス

○西村亮吉君 此質問ハ即チ委員長ハ反對ノ少數意見ガ出テ居リマスカラ、十分ノ御答ヲ得ラレナイト思ヒマス、シテ見ルトドウゾ此副委員長ノ渡邊男爵カラ御答ヲ願ヒタウゴザイマスカ、唯今ノ質問ニ對シテ……

(男爵渡邊清君演壇ニ登ル)

○男爵渡邊清君 モウ一應簡單ニ御尋ヲ願ヒマス、モウ一應要點バカリ……

○西村亮吉君 回答ヲ願ヒマス、此判決ノ理由ヲ見ルト前ノ……

○男爵渡邊清君 多數ノ方デスカ

○西村亮吉君 元ノ委員ノ決シタ、其理由書ヲ見ルト、此前議會即チ六月六日ニ此事件ヲ當議院デ判決シタ理由ヲ誤解シテゴザルヤウニ思フ、前議會ハ宇野清左衛門ハ互選資格ノナイ者デアアル、其互選資格ノナイ者ノ投票ハ無効デアアル、此譯デ松村修平ノ當選ヲ無効ト當議院デ判決シタ、所ガ此理由書ハ確定名簿ガ無効ニナッタト前議會デ判決シタヤウニ理由ガ書イテアル、スルト委員ノ判決ニナッタ理由ガ間違ッテ居ル

○男爵渡邊清君 ソレダケデスカ

○西村亮吉君 間違ッテ居ル、ソレカラマア御聽キナサイ、マダ先キニア

ル、所デ假ニ互選名簿ノ確定後ニ無資格者ヲ發見スルカ、又ハ其一人ガ死亡

スルト云フコトニナルト、確定名簿ガ動クト云フコトニナルト、更ニ此名簿ヲ調製シテ(互選人ニ配布シ、尙ホ且ツ管内ヘ告示シナケレバナラヌ、サウセメト名簿ノ確定ノ效ガナイト斯ウナッテ居ル、サウスルト六月十日ニ選舉ヲ行フコトガ出来ヌト云フコトニナル、其邊ハドウ云フ委員會デハ御評議デアッタカト云フコトガ一ツ、ソレカラ其次ハ……

○男爵渡邊清君 一ツツ、答ヘマス

○西村亮吉君 マアモウ一ツ……ソレデハ先ヅ御尋ヲシテソレカラ後ハ……

○男爵渡邊清君 宇野清左衛門ノ資格ヲ無資格ト判定シタ、無資格ト判定シタル結果一票足ラヌヤウニナッタカラ、松村修平ノ當選ハ無効ト前議會デ決シタ、貴族院令ノ第六條ニ此互選人ト云フモノハ十五人ナケレバ名簿ヲナサヌ、名簿ニナラヌノデアアル、ソレ故ニ名簿ハマルデ崩レタ、ソレカラモウ一ツ死亡者ガアル、其死亡者ハ死亡者アレバ後カラ加ッテ来ルンデス、十五人ガ十四人ニナルト後カラ加ッテ来ル、何モ譯ハナイ、ケレドモソレハ尙ホ管内ノ告示其他ノ手數ハヤラナケレバナラヌ、ソレハ分ッテ話、ソレカラモウ一ツ何デス

○西村亮吉君 一向分ラヌデス

○男爵渡邊清君 分ラヌデスカラ私が理由ヲシッカリ述ベヤウト思フ、述ベタ後デ御尋ヲナサイ

○西村亮吉君 互選名簿確定後ニ無資格者ヲ發見シ、又ハ其一人ガ死亡シテ……確定後ニ死亡シタトスルト更ニ名簿ヲ調製シテ互選人ニ配付シ、尙ホ且ツ管内ヘ告示セネバ名簿ノ確定シタモノトハ思ハレヌヤウニナルガ其邊ハドウ御詮議ニナッタカ

○男爵渡邊清君 宜シイデス、ソレデ私ガ一應……

○西村亮吉君 ソレデマダ述べル、サウスルト六月十日ニ選舉ヲスルコトガ出来ヌヤウニナル、ソレハドウサツシヤルカ、其邊ハドウ決シタカ伺ヒタイ

○男爵渡邊清君 宜シイ、通常ノ選舉ト云フモノハ四月一日ニ帳簿ヲ調製シテ六月ノ一日ニ確定シテ六月ノ十日ニ選舉スル、是ガ互選規則ノ法デアアル、併シナガラ補關選舉ニナルト其月日ハ追フコトガ出来ナイ、其上ニ帳簿ヲ編製スル日限モモト短縮シテアル、ソレハ補關選舉ノ所ヲ御覽ナサレバ分ル規則ヲ……其通常デセザル外ハ補關選舉ノ規則デアアル

○西村亮吉君 然ラバ尙ホ伺ヒマスガ、委員會デハ之ヲ補關選舉ト認メタノデアリマスカ

○男爵渡邊清君 改選セニヤアナラヌト……

○西村亮吉君 是ハ補關選舉デアアルト認メテ判決ナサレタカ

○男爵渡邊清君 通常デナイカラ補關選舉ニ依ルカ改選セニヤナラヌ、ソレハ行政上ノコトデアアルカラ知ラヌ、兎モ角モ私ノ趣意ヲ述ベルト云フカラ御聽キナサイ、述べタ以上ニ御尋ナサイ

○西村亮吉君 マダ質問中デアアルノデス、ソレナラバ先ヅ是ハ一向要領ヲ得ヌ、要領ヲ得ヌガ詰リ委員會ハ之ヲ補關選舉デアアルト認メテ斯ク判決シタト推測ヲ下ス外ニ……

○男爵渡邊清君 ソレハ行政上ノ手續……

○西村亮吉君 シテ又一箇條承ハラナケレバナラヌ、此當議院デ判決シタノハ詰リ終審ノ判決デアアルト心得テ居ル、所ガ前議會デ判決シタ事件ヲ又次ノ

議會へ持出ス、斯ノ如キコトヲ仕出シタナラバ實ニ際限ノナイコトニナル
○男爵渡邊清君 宜シイ宜シイ、ツレハ言ハセヌト云フ法律ガアリマス
○西村亮吉君 際限ガナイ、際限ノナイト云フコトニナルト斯ウ云フコトニ
ナル、何カ此附則ノ方ヘ同事件ヲ次ノ議會ヘ持出サレヌト云フヤウナ條ヲ一
ツ加ヘンナラヌヤウニナル、其邊ハ如何ノ御詮議ニナツタカ承リタイ
○男爵渡邊清君 出訴スルノハ正當ヲ得テ居ルト見認メタ、又出訴スルコト
ガ出來ヌト云フコトハアリマセヌ、免モ角モ御聽ナサイ私ガ申述ベルコト
ヲ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 意見ナレバ通告ガアリマス

(男爵渡邊清君) 質問ヲ解クノデス「ト述フ」

質問ノ答辯デスカ

(男爵渡邊清君) 先刻委員長ガ委細ハ副委員長ガ説明ニナルト言ヒマシ
「ト述フ」

意見ヲ御述ニナルナラ通告ノ順序モアリマス、少數意見モ出テ居リマス、又
其外ニ一種變ツタ意見モ出テ居リマス、通告ノ順序モアリマスカラ、アナタ
一個ノ御意見トシテハ甚ダウモ……

○男爵伊達宗敦君 渡邊男爵ハ副委員長デアッテ、委員長ガ副委員長ガ補フ
カラト云フコトヲ言ハレタノデアリマスカラ渡邊男爵ハ御述ニナツテ差支ナ
イコト、思ヒマス、是ハ後例ニモナリマスカラ御許ニナツテ私ハ差支ナイト
思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 報告ノ追加ト云フコトハ差支ナイカモ知レマセヌ
ガ、ツレハ殆ド際限ノナイコトニナリマス、色々委員ノ中カラ尙ホ不足ガア
ルカラト云ツテ意見ヲ述ベルト云フ例ガ起ラウト思ヒマス、免ニ角時刻ニナ
リマシタカラ唯今休憩ヲ致シマス

午後零時十二分休憩

午後一時十四分開議

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(小原書記官朗讀)

政府提出明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)(第二號)(第五號)
ハ本日政府ニ於テ撤回セラレタル旨衆議院ノ通過ヲ受領シタリ
本日政府ヨリ明治三十年四月一日ヨリ同三十一年三月三十一日ニ至ル各省
所管官有財産増減異同報告書ヲ受領シタリ
○議長(公爵近衛篤磨君) 今朝御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道
ヲ致シマス

(河田書記官朗讀)

海港檢疫法案外一件特別委員

伯爵吉井 幸藏君 子爵高野 宗順君

長與 專齋君 高木 兼寛君

大澤 謙二君 磯邊 包義君

供託法案特別委員

子爵長岡 護美君 子爵大久保忠順君

三好 退藏君

周布 公平君

三宅 秀君

野口 駿君

三浦 安君 名村 泰藏君 村田 保君
山脇 玄君 山本 忠秀君 鳥越 貞敏君

郵便條例中改正法律案特別委員

侯爵松平 康莊君 子爵錦織 敬久君 子爵京極 高典君

男爵鈴木 大亮君 男爵本多 副元君 宮島 誠一郎君

佐藤 喜八郎君 松永 安彦君 岡田 太平治君

關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律案特別委員

侯爵黑田 長成君 伯爵立花 寛治君 子爵大宮 以季君

子爵島居 忠文君 宮本 小一君 男爵中島 錫胤君

成川 尙義君 富田 鐵之助君 熱海 孫十郎君

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

○男爵渡邊清君 午前ノ會議ニ於テ少シク不穩當ノ言ヲ述ベマシタデ、ツ
レヲ御取消ヲ願ヒタウゴザイマス

○富井政章君 私ハ少數者ノ一人デアリマスガ、少數意見ヲ述ベテ宜シウゴ
ザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

(富井政章君演壇ニ登ル)

○富井政章君 私ハ少數者ノ一人トシテ委員會ノ決議ニ反對ノ理由ヲ簡單ニ
述ベタイト思ヒマス、此當選訴訟ハ前會期ニ起ツタ事件ニ關係ヲ持ッテ居リ
マスヨリシテ大分入組シタ問題デアリマス、本員ハ前會期中ハ尙ホ洋行中デ
アリマシテ速記録ニ載ッテ居ルコトノ外ハ一切存シマセヌデアリマス、原
被告トモ如何ナル人カ顔モ知ラナイデアリマス、ツレ故ニ如何ナル政治意
見ヲ持ッテ居ル人ヤ又是マデ如何ナル事蹟ガ本問題ニ關シテ起ツタカト云フ
コトモ全ク不案内デアリマス、又サウ云フコトハ總テ眼中ニセズシテ全ク法
理一面ヨリ判斷ヲ下スデアリマス、抑々此當選訴訟ノ要點ト申スハ少數意
見ノ初ニ掲ゲデアリマス如ク確定名簿ニ一人ノ納稅資格ナキ者ガ登載シアッ
タガタメニ其投票ニ依ッテ當選シタ者ノ當選ガ無効デアルト判決セラレタト
キハ其結果トシテ確定名簿ト其名簿ニ依ッテ行ツタ選舉マデガ無効ニナルヤ
否ヤト云フ問題デアリマス、實ニ重大ナ法理問題デアリマシタ此度ノ判
決ガ後來ノ前例ニナラウト思ヒマスニ依ッテ十分ニ御考究ヲ願ヒタイト
思ヒマス、今暫ク現行法ヲ見ズシテ單純ナ條理ニ訴ヘマストキハ原告ノ申
立ハ誠ニ至當デアルト考ヘマス、其譯ハ互選名簿ニ一人ノ無資格者ガ載ッテ居
タトスレバ即チ一人ノ有資格者ガ漏レテ居タノデアアル、名簿其モノニ疵ガアッ
タ、メデアリマス、ツレ故ニ名簿ヲ改製シテ補關選舉ヲ行フガ至當デアアル、
衆議院議員ノ選舉ト違ッテ僅カ十五人ノ互選會デアリマス故ニ一人ノコトデ
結果ガ大ニ違フコトニナリマス、又衆議院議員ノ選舉ト違ッテ補關選舉ト申
シテモ誠ニ造作ナイコトデアアル、ツレ故ニ一片ノ理論ヨリ考ヘマストキハド
ウモ補關選舉ヲ行ヒタイ感ガ起リマス、又今日立法問題トシテ即チ今茲ニ法
律ヲ設ケルカ又ハ改正スルニ當ッテ如何ニ定ムルガ可ナルカト云フ問題デア
レバ本件ノ如キ場合ニハ名簿ヲ作り直シテ補關選舉ヲ行フヤウニスルガ或ハ
宜シカラウカト思ヒマス、然レドモ奈何セシ現行法ノ規定ト選舉法一般ノ
原理ニ照シテ考ヘマスルトキハ原告ノ要求ハ到底容ル、コトノ出來ナイモノ

ト信シマス、先づ第一ニ御注意ヲ乞ハネバナラヌト思ヒマスコトハ此當選訴
訟ハ前會期中ニ起リ當選訴訟トハ全ク別ノモノデアリマシテ法理上關係ノ
ナイモノデアリマス、然レニ前ノ判決ト問ニ必然ノ關係ヲ著ケテ見ルコト
ガ甚ダ起リ易イ、即チ前判決ノ效力ニ附イテ大ニ誤解ガ生ジ易イト思フノデ
アリマス、吾々委員ノ意見ガ不幸ニシテ一致シナカッタノモ主トシテ此點ニ
アリマス、私ノ固ク信シマスル所ハ前ノ判決ノ當否ハ此當選訴訟ノ判決ニ對
シテ影響ヲ及シテハナラヌモノト思ヒマス、其理由ハ前ノ判決ニ依ッテ極
マコトハ何デアアルカト申スニ互選人中ノ一人ニ互選資格ナキコトヲ認メ其投
票ヲ得タルニ由ッテ當選シタ本件原告ノ當選ヲ無効トシタダケノコトデアリ
マス、其宇野某ナル一人ガ果シテ無資格者ト見ルベキ者デアッタカ否ヤニ附
イテハ速記録ヲ見マシタニ本院ノ議場ニ於テモ大ニ議論ガアッタコトデアリ
マス、又實ニ論ジ得ベキ價值ノアル問題ト思ヒマス、併ナガラ此問題ハ今日
ニ至ッテハ最早論ズベキ問題デアリノデ、假令反對說ヲ執ッテモ今日再審ヲ
爲スト云フコトデアリ限ハ眞ニ無資格者デアッタモノト見ナケレバナラヌ、
然ラバ其宇野某ナル一人ノ投票ノ無効ナルコト從ッテ其投票ヲ得タレバコ
ソ當選シタト云フ本件原告ノ當選ノ無効ナルコトハ疑ノナイコトデアリマ
ス、然レニ一旦確定シタル名簿マデ無効ト爲シタルデアアルカ其名簿ニ依ッテ
行ッタル所ノ互選其モノマデ無効ト爲シタルデアアルカト云フニサウ云フコトハ
判決文ヲ見マシテモ又當時ノ討論筆記ヲ見マシテモ少シモ現レテ居ナイ、先
刻西村君カラ御注意ノアッタ通寧口反對ガ現レテ居ル即チ一人ノ無資格者ガ
アッタト云フコトヲ認メテ其結果ヲ引イタダケノコトガ現レテ居マス、又假
ニ多數諸君ノ御考ノ中ニ名簿モ無効トシ選舉モ無効トスル意向ガアッタトシ
テモ其ヤウナコトハ法理上出來ナイコト、思ヒマス、幸ニ其ヤウナコトハ唯
今申上ダマシタ通少シモ表ニ現レテ居ナイ、一人ノ納稅資格ナキ者ガ名簿ニ
載ッテ居ッタト云フコトハ恰モ白痴癡癡者又ハ公權ヲ剝奪セラレタル者ガ名
簿ニ載ッテ居ッタト同ジコトデアリマス、即チ互選規則第四條ニ列舉シタル者
ガ一人誤載セラレタト變ルコトハナイ、ソレデ此場合ニハ如何ナル結果ニ
ナルカト云フニ其一人ノ投票ガ無効トナッテ從ッテ其投票ヲ得タルニ由ッテ當
選シタ者ノ當選ガ無効ニナル、ソレダケノコトデアリマス、確定名簿ト選舉
其モノガ無効ニナルカト云フニ決シテ其ヤウナコトハアリマセヌ、若シ確定
名簿ニ一人ノ無資格者ガ載ッテ居タダケタメニ名簿ト選舉マデガ無効ニナルト
スレバ選舉ト云フモノハ何時マデモ確定シナイコトニナリマス、斯ノ如キハ
憲法政治ノ運用上ニ少カラザル障礙ヲ來スコトデアリマシテ選舉法ノ原理ニ
反スルモノト信シマス、原告ノ訴狀ヲ見マスニ同一ノ確定名簿ガ原告ニ對シ
テハ無効、被告ニ對シテハ有效トナル如キ矛盾ヲ來ス云々トアリマスルケレ
ドモソレハ前ノ判決ニ依ッテ確定名簿ノ效力ガ失セタト前定シタルヨリ起ッ
タル誤解ト思ヒマス、名簿其モノハ決シテ無効トナリタルデアリマセヌ、唯無
資格者ノ投票ガ無効トナッテ其得票ノ結果ニ依ッテ當選シタ者ノ當選ガ無
効ニナッタダケノコトデアアル、若シ其宇野某ナル一人ノ投票ガ無効トナッ
タニ拘ラズ原告松村君ノ得票ガ最多數デアッタトスレバ名簿ト選舉ハ無効
トナリマセヌガ故ニ松村君ハ無論當選者デアアルト思ヒマス、反對論ノ唯一
ノ根據ハ貴族院令第六條デアリマス、貴族院令第六條ニ多額ノ直接國稅ヲ

納ムル者十五人ノ中ヨリ云々トアル、ソコデ若シ一人ノ無資格者ト認ムル
者ガアッタ其投票ガ無効ト爲ルトキハ十四人ノ互選會デアッテ即チ貴族院令
第六條ノ明文ニ反スト云ウデアリマス、然レドモ同條ニ十五人云々トアル其
意味ハ二ツ一ツデアアルト思ヒマス、先づ互選ノ當時ニ十五人ノ頭數ガ揃ハネ
バナラヌト云フ意味デアアルカト云フニ決シテ其ヤウナコトハナイ、疾病其他
ノ理由ニ據ッテ棄權ヲシタ者ガアルカ、又ハ互選ノ前ニ死亡シタ者ガアル
云フ如キ場合ニハ選舉ガ無効ト爲ルカ又名簿ヲ改製スルカト云フニ決シテ其
ヤウナコトハナイ、成ル程唯今申上ダマシヤウナ事實ハ始カラ名簿ニ疵ガアル
ノデナクシテ後ニ起リタ事實デアリマス、併ナガラ始カラ名簿ニ疵ガアル
合ヲ例ニ取ッテモ宜シイ、即チ先刻申上ダマシヤウナ癡癡者ガ一人名簿ニ載
テ居タカ、或ハ公權ヲ剝奪セラレタル者ガ載ッテ居タト云フ場合ヲ例ニ取ッテ
モ宜シイ同ジコトデアリマス、サウ云フ場合ニハ其一人ノ投票ハ無効トナル、
行政官ノ失策ノタメニ無資格者ガ有資格者ト爲ルト云フヤウナコトハアリ得
ナイノデアアル、然レドモ選舉全體ガ無効トナルカト云フニ決シテ其ヤウナコ
トハアリ得ナイト信シマス、サウシテ見レバ貴族院令第六條ニ十五人云々ト
アルハ互選資格ヲ極メタダケノ者ト解スルヨリ仕方ガナイ、即チ十五番目マ
デノ財產家ガ互選資格ヲ有スト書イテアルノト同ジコトニ解セネバナラヌコ
ト、思ヒマス、而シテ其互選資格ト云フモノハ何ニ依ッテ極マルカト云フト
確定名簿ニ據ッテ極マル、確定名簿ト云フモノハ四月一日ニ調製シテソレカ
ラ後ニ互選規則ニ極メテアル日ニ告示ヲ致シマシテサウシテ更ニ其告示後十
五日以内ニ誤脱誤載等ガアレバ訂正ヲ申立テ爾コトヲ得ル權利ヲ認メテ居ル
即チ互選規則第十一條ニ其規定ガアリマス、而シテ名簿ハ六月一日ヲ以テ確
定致シマス、縱令誤ッテ無資格者ガ載セテアッタツレバタメニ實際法定ノ人
數ニ滿タザルコトガアッタモ最早之ヲ補足スル途ハ定メテアリマセヌ、訂正
期限ガ切レタ以上ハ其確定シタル名簿ニ據ッテ選舉ヲ執行スベキモノト云フ
ノ精神ト解スルヨリ仕方ガナイト思ヒマス、若シ然ラザレバ確定名簿ト云フ
モノハ遂ニ如何ナル效力ヲ有スルモノカ分ラナイコトニナッテシマウ、確定
ト申シテモ何ガ確定スルノデアアルカ確定ト云フコトハ全ク無意味ノコトニ
ナリマス、私ノ解スル所デアハ訂正期限内ニ訂正ヲ申出ヅル者ガナケレバ縱令
誤ガアッタモ其名簿ニ據ッテ選舉ハ行フゾ、ト云フコトデアアルト思ヒマス、
要スルニ純然タル資格問題即チ無資格者ノ投票ガ無効トナルト云フコトハ、
選舉全體ガ名簿ト共ニ無効トナルト云フコトハ全ク別ノコトデアリマス、貴
族院令第六條ヲ見マシテモ選舉ニ關スル規則ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトア
ル、而シテ其目指ス所ノ互選規則ヲ見マスニキハ縱令名簿ニ無資格者ガ載ッテ
居テモ一旦訂正ヲ求ムル期間ヲ經過シテ名簿ガ確定シタル以上ハ最早選舉ノ
效力ハ動カナイモノトスルノ精神デアアルコトハ火ヲ觀ル如クニ明デアアルト
思ヒマス、公平ノタメ序ニ一言致シテ置キタイコトハ被告ハ答辯書中ニ出訴
期限ノ過去ッタコトヲ理由トシテ居リマスケレドモ是ハ本員一人ノ考デアハ誤
解デアアルト思ヒマス、互選規則第二十六條ニ所謂開會後十日以内トアリマス
ノハ次期ノ議會開會後十日以内ト狹ク解スベキモノトシテモ被告ガ當選人ト
シテ議員ニ任ゼラレタルハ去ル七月デアリマス、ソレ故ニ前期ノ議會ニハ到
底起訴スルコトガ出來ナンダノデアリマス、私ノ考デアハ是ハ任命ノトキヨリ

起算スベキモノデアラウト考ヘマス、然ラザレバ遂ニ起訴ノ途ガナイト云フ
トニナリマス、左様ナ結果ニハ決シテ立法ノ精神デアアルマイト思
ヒマス、依テ原告ガ當會期ノ始ニ起訴致シマシタハ正當ナコトデアッテ被告
ガ之ヲ以テ防訴ノ抗辯ト爲シタルハ誤デアルト思ヒマス、最モ反對説ハ十分
ニ立ツト思ヒマス、ケレドモ私一人ハ此點ハ理由ニナラヌト考ヘマシテ委員會
ニ於テモ却下説ハ唱ヘナカッタデアリマス、終リニ一言述べタク思ヒマス
コトハ前判決ノ末文ニ初原告荒野由次郎君以テ當選人トスト云フコトガアリ
マシタガ議場ニ於テ其一句ハ削除ニナリマシタ、削除ニナツタ理由ハ速記録
ニハ少シモ現レテ居リマセヌ、ソレ故ニ是ハ別問題デアアル、其點ニ論及スル
必要ガナイト諸君ハ見ラレテ削除ニナツタト解スルヨリ公平ナ解釋ハナイト
思フノデアリマス、併ナガラ委員會ニ於ケル反對論者ハ之ヲ解釋シテ本院ノ
多數ノ意思ハ補關選舉ヲ行フニアツタモノト見ラル、ヤウデアリマス、併ナ
ガラ本員ノ解スル處デ見レバ其一句ハアルモノモ同ジコトデアアル、假令本
院ノ判決文中ニ謳ハナクトモ最高點者ノ當點ガ無効ト爲レバ次點者ガ當選者
ト爲ルト云フコトハ法ニ依ツテ極ツテ居ルコトデアリマス、故ラニ本院ガ語
ヲ設ケテ決スルヲ俟タナイコトデアリマス、假ニ多數諸君ノ意思ハ補關選舉
ヲ行フニアツタトシテモ最前申上ゲマシタ通左様ナコトハ違法デアルト思ヒ
マス、又幸ニ速記録ニ現レテ居リマセヌ、ソレ故ニ又政府ガ補關選舉ヲ行
フ手續ヲ爲サナカッタモ私ハ決シテ不當ト思ハナイノデアリマス、斯ル場合
ニ補關選舉ヲ行フハ違法ト思ヒマス、依ツテ即チ政府ハ正當ニ法ヲ解釋シ
タモノデアリマス、又手續上カラ申シテモ互選規則第二十四條ニ依ツテ補關
選舉ヲ行フ場合ニ於テハ議長ヨリ奏上ガナクテハナラヌ、而シテ議長ヨリ
奏上ガナカッタハ私ノ説カラ云ヘバ極テ正當ナコトデアッテ思ヒマス、尙ホ
一言述べタイコトハ私ハ此爭訟事件ヲ以テ一旦極ツタ事件ヲ再審スルモノト
ハ見ナイノデアリマス、今度ノ判決ト云フモノハ一人ノ無資格者ガアッタガタ
メニ其無資格者ノ投票ヲ得タルニ依ツテ當選シタ者ノ當選ガ無効ト爲ツタ場
合ニ名簿ト選舉マデガ無効ト爲ルヤト云フ問題デアアル、前ノ判決ハ唯一人ノ
無資格者ガアル場合ニ其投票ヲ得タルニ由ツテ當選シタ者ノ當選ヲ無効ト爲
シタダケノコトデアアル、今度ノ判決ニ依テ假令不幸ニシテ吾々少數者ノ意見
ガ否決セラレタト致シマシタモ松村君ハ直ニ當選者ト爲ルノデアリナイ、特直
シヤラウト云フノデアアル、補關選舉ヲ行フト云フノデアリマスカラ如何ナ
ル結果ニナルカハ知レヌ、ソレ故ニ私ハ一事不再理ノ原則ニ反スルトハ思ハ
ナイノデアリマス、以上述べマシタ理由ニ依ツテ私ハ前判決ノタメニ確定名簿
竝ニ選舉全體ガ無効ニナルト云フ説ハ今日ドウシテモ同意出來ナイノデアリ
マス、ソレ故ニ本件被告ノ當選人タルコトヲ固ク信ズルノデアリマス、貴族
院令ハ單純デアリマシテ決シテ貴族院令バカリニ依テ解釋ヲ立ルコトハ出來
マセヌ、貴族院令第六條ハ選舉ノコトニ就テハ互選規則ニ讓テアリマス、
故ニ互選規則ニ此爭訟事件ニ對スル判決ノ理由ヲ汲マネバナラヌト思ヒマ
ス、要スルニ本件ハ前ノ爭訟事件トハ法理上全ク別ノモノデアリマシテ實ニ
重大ナル法理問題ト信ジマス、先例ハナク之ガ先例ト爲ルノデアリマス、ソ
レ故ニ何卒十分ニ御攻究下サレマシテ貴族院ガ千歲取返シノ出來ナイ違法ノ

判決ヲ下スコトニナラザルヲ切ニ希望致シマス

(山脇玄君演壇ニ登ル)

○山脇玄君 私ハ定規ノ贊成ヲ得マシテ本議案ノ判決主文ノ本訴ハ之ヲ棄却
スト云フヤウニ修正ヲ致サントスルノ意見ヲ議長マデ提出致シテ置キマシ
ニ因ツテ聊カ其理由ヲ是ヨリ説明致サウト存ジマス、私ハ本議案ノ爭訟ニ對
シマシテハ委員會多數ノ意見ニモ又少數ノ意見ニモ同意ヲ表スルコトガ出來
セヌ、其譯ハ私ハ本議案ノ實質ニ立入ラズシテ出訴期限經過ト云フ理由ヲ以
テ此本訴ヲ棄却スル考デアリマス、貴族院令第九條及貴族院議員資格及選舉
爭訟判決規則第一條ニゴザリマス、此選舉ニ係ル訴訟即チ選舉訴訟ノ中ニ
ハ二種類アラウト考ヘラレマス、デ第一種ハ選舉全體ヲ無効トセントスルヲ
以テ目的トスル訴訟デアリマス、此訴訟ノ理由ハ總テ選舉ノ規定ニ違反ス
ル廉ガアル即チ選舉管理者ガ選舉ヲ執行スルニ附イテ遵守スベキ規定ニ違背
スルコトガアルニ因ツテ選舉全體ヲ無効トスベシト云フノデアリマス、茲ニ一
二ノ例ヲ舉ゲテ申シマス、レバ貴族院多額納者議員互選規則第十條ニ「府縣知
事ハ四月二十日マテニ互選名簿ヲ各互選人ニ配付シテ併セテ之ヲ管内ニ告示
スヘシ」ト斯ウ規定シデアリマス、レモ拘ラズ其告示ヲ怠リ爲ニ互選資格ニ
異議申立ノ途ガナイヤウニ致シタ如キ又ハ第十五條ニ「府縣知事ハ投票ノ時
刻ヲ定メ遲クトモ選舉ノ期日ヨリ七日前ニ各互選人ニ通知書ヲ發スヘシ」ト
斯ウ規定シデアリマス、拘ラズ其期限ヲ短縮致シマシテ選舉人ニ十分ナル選
舉準備ノ猶豫ヲ與ヘザルガ如キモノデアリマシテ、此等ハ選舉ノ規定ニ違背
シタル場合ノ一ニ例デアリマス、第二種ハ次點者タル互選人ガ當選人ノ當
選ヲ無効トセムトスルヲ以テ目的トスル訴訟即チ普通ニ唱ヘマスル所ノ當選
訴訟デアリマス、此訴訟ノ理由ハ當選人ノ得タル投票ノ中ニ無効ナルベキ
モノガアルニ因ツテ之ヲ減ズルトキハ次點者ノ得票ガ多數ト爲リ從ツテ當選人
ト爲ルベキモノデアルト云フノデアリマス、右第一種第二種ノ訴訟ニ於ケル
目的ガ既ニ違ウデアリマス、ナラバ之ヲ審查判決スル上ニ於キマシテモ當然
其間ニ區別スル所ガナクテハナリマセヌ、即チ最高法院タル當院ガ第一種ノ
即チ選舉全體ヲ無効トスル爭訟ヲ審判スルニ當リマシテハ此原告被告ガ爭フ
所ノ選舉ハ選舉ノ規定ニ違背シタル廉ガアルヤ否ヤヲ審查致シマシテ果シテ
違背シタル廉ヲ發見シマシタナラバ原告主張ノ如ク選舉全體ヲ無効トセバ
ナリマセヌ、是ニ於キマシテ選舉管理者タル府縣知事ハ如何ナル所置ヲ爲ス
ベキヤト申シマス、レニ選舉全體ヲ無効トシタ判決ノ結果ト致シマシテ補關
選舉ヲ行ハネバナリマセヌ、此補關選舉ニ對シマスル出訴期限ハ次會期ノ開
會後十日以内デアリマスカラ出訴スル期限ハ十分ニアリマス、第二種ノ爭訟
ヲ審判スルニ當リマシテハ當選人ノ得タル投票中ニ無効ノモノガアルヤ否ヤヲ
審查致シマシテ無効トナルベキモノガアッタナラバ其結果トシテ原告ノ得票
ガ多數ト爲ルヤ否ヤヲモ合セテ審查ヲ致シマシテ原告被告ガ多數ト得票
者ト爲ルベキモノデアリマシタナラバ當選人即チ被告ノ當選ヲ無効トセバ
ナリマセヌ、デ此所ニ於キマシテ選舉管理者ハ如何ナル處置ヲ爲スベキヤト
申シマス、レニ補關選舉ハ行ヒマセヌ、判決ノ結果トシテ原告ヲ當選人トセ
ネバナラヌノデアリマス、デ此當選ニ對シマシテ更ニ出訴セントシマシタ所
ガ出訴期限ハ既ニ經過シテ居リマス、レニ依ツテ最早出訴スルコトハ出來マセ

ヌ、然ルニ此委員多數ノ御意見ハ理由ノ所ニ如何申シテアリマスルカヲ見マ
スルノニ前ノ判決ニ於テ確定名簿ニ登記シタル互選人ヲ其資格ナシト判決シ
タルヨリ見レバ名簿ハ既ニ確定ノ效力ヲ失ヒタルモノデアル、松村修平ノ當
選ハ之ニ基キ執行シタル選舉ノ結果デアルカラ無効ナリトシタルノデアラウト
斯ウ云フテアリマスルガ、サウデハナイノデアリマス、前判決ハ其理由ノ所
ニ説明シテアリマスルヤウニ確定名簿ノ效力ヲ失ハシメタルメニ松村君ノ
當選ヲ無効トシタルデアリマス、若シサウデアッタラバ選舉全體ヲ無
効トセネバナリマセヌ、恐ラクハ此委員多數ハ判決主文ト其理由ヲ能ク詭味
ナサラナイ所カラ斯ク結論ナサレタノデアリマス、申スマデモゴザ
イマセヌ判決主文ハ理由ト相俟ツテ始テ效用ヲ爲スモノデアリマス、今民事
訴訟ノ一例ヲ舉ゲテ申シマスレバ判決主文ニ被告ハ原告請求スル所ノ金若干
圓ヲ返濟スベシト斯ウアリマス、デ其理由ニ此被告ガ返濟スベキ金圓ハ貸借
契約ニ基キトカ又ハ爲換券ニ依ルトカ説明シタル場合ハ如何デアリマセ
ウ、單ニ主文ノミニ依ッテ判斷ヲ致シタルナラバ原告ハ再び同一ノ貸金
若クハ爲替金ヲ被告ニ向ッテ請求シ得ルガ如キ奇態ナ結果ヲ生ジネバナリ
マセヌ、デ此場合ニ被告ガ返濟義務ヲ負擔スルノハ何レノ貸借斯クヤノ爲
替券ニ基キト云フコトハ唯此理由ノ説明中ニアリマスルノミデハゴザイマス
ガ、是ハ所謂判決主文即チ金若干圓ヲ返濟スベシトノ裁判ノ中ニ包含セシメ
テコト判決主文ノ趣旨ヲ了解スルコトガ出來ルノデアリマス、デ前述ベマシ
タル如ク選舉爭訟ノ目的及判決ノ結果ガ果シテ此ノ如クアルベキモノト致シ
マシタルナラバ本議案タル松村對荒野當選無効ノ爭訟ハ如何ニ審判スベキヤト
云フコトハ自ラ明瞭デアリマス、即チ本訴ハ出訴期限ヲ經過シタルモノデア
カラ其實體ヲ審查セズシテ棄却スベキモノデアアル、尙ホ進デ一層精シク申シ
マスレバ、抑、貴族院多數納稅者議員互選規則第二十六條ニ於キマシテ選舉
爭訟ニ關シ開會後十日以内ニ出訴期限ヲ定メ立法ノ趣旨ハ如何ナルモノ
ノデアリマセウカ、諸君モ御承知ノ如ク一定期間ヲ經過ヲ以テマシテ選舉
シテ確定不動ノモノトシタルモノニアラウト考ヘラレマス、デ本訴ハ如
何ナル種類ノ屬スベキモノデアアルカト申シマスルノニ是ハ少シク變體デア
リマシテ荒野君ノ當選ヲ無効トセントスルヲ以テ目的トシテアリマスルケレド
モ第一種ノ爭訟ニ屬スルモノト見テ宜シカラウト思ハレマス、ソレハ如何ナ
ル種類ニ屬スルモノデアリマシテモ元來荒野君ノ當選ハ補闕選舉ニ依ッテ定
メタルノデアリマセヌ、當院判決ノ結果ノ然ラシメタルデアリマスニ依ッテ
既ニ出訴期限ヲ經過シタルモノデアッテ出訴手續ニ違背シタル廉ガアルト
ネバナリマセヌ、之ヲ語ヲ換ヘテ申シマスレバ第十二回議會開會ニ於テ當院
ニ提起シタル荒野對松村當選無効ノ爭訟ニ就テノ判決ハ前ニ述べマシタル第
二種ニ屬スルモノデアリマシタルカラ當院ハ審查ノ上松村君ノ當選ノミヲ無効
ト致シマシタルノデアリマス、選舉全體ヲ無効トシタルデアリマセヌ、ソレデア
レバコ
ノ選舉管理者ハ判決ノ趣旨ニ羈束セラレテ當時ノ原告荒野君ヲ當選人トシタ
ノデアリマス、然ルニ當院ガ今回ノ爭訟ヲ其實體ニ就イテ審判スベシト致シ
マシタルナラバ出訴期限ヲ經過シタル違法ノ爭訟ヲ審判スルコトニナリ
マシテ不當モ亦甚シイト言ハネバナリマセヌ、ナゼナレバ、本訴原告ガ此無効
トセントスル荒野君ノ選舉ト云フモノガ明治三十年六月十日ニ執行セラレタ
ルモノデアッテ此選舉ニ對シテハ第十二議會開會後十日以内ニ出訴スベキ規

定アルニ拘ラス恰モ補闕選舉ニ依ッテ選舉ニ對スル如ク是ガ審判ヲ爲スコト
ニナルカラデアリマス、以上述べマシタル所ガ本訴ガ出訴期限ヲ經過シタル
デアルト云フ理由ノ概要デアリマス、茲ニ私ハ委員多數ノ報告ノ多數ニ同意
ヲ表セラル、諸君ニ向ッテ反問ヲ致シタイト存ジマス、若シ本訴ノ場合
デ松村君若クハ丙ナル他ノ互選人ヨリ本議會ニ向ッテ荒野君ノ投票中ニ無効
ノモノガアルニ依ッテ其當選ヲ無効ニセントスル爭訟ヲ提起シタルモノデア
タナラバ如何デアリマセウ、諸君ハ必ズ本訴ハ審判スベキモノデアアルト
答ヘラル、デアラウト思ハレマス、果シテ斯ノ如クナリマシタルバ此場合
デ松村君ナリ丙ナル他ノ互選人ナリガ裁判ノ結果當選ト爲リマシタルバ
又次ノ議會ニ於テハ丁ナル他ノ互選人ヨリ丙ノ當選ヲ無効トセントスル爭
訟ヲ提起スルコトニナリマス、然ルトキニハ當選爭訟ニ當選爭訟ヲ重ネマシ
テ遂ニ底止スル所ガナイヤウニナリマス、終リニ尙ホ一言致シテ置キタイコ
トガアリマス、前ニ述べマシタル如ク此本訴ハ歸著スベキ理由ガアリマスニ
係ラズ此委員會ニ於テ委員長御報告ノヤウニ判決ヲナサレタト云フモノハ或
ハ當院ノ前判決ニ御不同意ナルヨリサウナッタノデアリマス、果シ
テサウデアリマシタルナラバ今日ハ前判決ヲ改ムルトキデアアルマイト考ヘラ
マス、他日同種ノ爭訟ガアツタ場合ニ宜シク審查ノ上改ムベキモノデア
ナラバ其トキ改ル方ガ當院ノ判決トシテ體裁上其當ヲ得タルモノト存ジマ
ス、故ニ委員多數ノ意見ニ贊成ノ諸君ハ是ガ將來ノ判例ト爲ルコトデアリマ
スカラ今一應熟考下サリマシテ私提出ノ修正意見ニ御同意下サランコトヲ希
望致シマス、又委員少數ノ御意見ノ此當選ヲ無効ニセントスル點ニ於キマ
シテハ修正意見ト同一ニナリマス、ケレドモ其理由ト結果トニ至リマシテハ大ニ
差ガアリマス、殊ニ本訴ノ實體ニ立入りマシテ審查スルノ點ハ如何ノモノデ
アリマセウヤ、少數意見ニ贊成セラル、諸君ハ一番茲デ御奮發下スツテ今一
歩ヲ讓ラレテ修正案ニ御同意下サレタナラバ將來ニ好判例ヲ貽スコトニナリ
ハ致シマス、マイカ、ドウカ此點ニ附イテハ御一考ヲ願ヒタウゴザイマス、最
モ私ノ意見ガ不幸ニシテ多數ノ御贊成ヲ得ズ成立チマセナシタトキハ遺憾ナ
ガラ少數意見ニ御同意スルヨリ致方ガゴザイマセヌ、恐ラクハ私ノ修正意見
ニ贊成ヲ下サリマスル諸君モ御同様ノ御考ト存ゼラレマス、併ナガラ之ハ萬
已ムヲ得ナイ場合ノ覺悟ヲ申シマシタルマデ、アリマスニ依ッテ滿場ノ諸君ハ
他ノ問題トハ違ヒマシテ最高法院デアアル當院ノ裁判事件デアリマスカラ申
マデ長(公爵近衛篤磨君) チョット御協熟考アラシムコトヲ希望致シマス
○議長(公爵近衛篤磨君) チョット御協熟考アラシムコトヲ希望致シマス
ト云フヤウナ姿ニナレバツレデ若シモ山脇君ノ説ガ議場ガ成立ツト云フコト
ニナリマス、委員會ノ多數意見モ少數モ關ハス必要ガナクナリマセウト思ヒ
マス、カラ山脇君ノ説ニ對シテノ反對論ガアレバ格別サウデナケレバ討論ニ移
ル前ニ山脇君ノ意見ヲ決シテシマッタラ如何デアラウト存ジマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ左様致シマス
○水野遵君 唯今ノ御宣告ニ附イテ別段異議ヲ狹ムノデアリマセヌガ本
員ノ考ヲ一言申シマシテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、ソレハ矢張普通ノ修
正若クハ意見トシテ決テ御採リニナル際ハ山脇君ノヲ一番先ニ御採ニナツタ

ヲ宜カラウト存シマス、茲テ山脇君ノヲ先決問題トシテ採リマス。ト申スノハ此出訴
ニ於テ山脇君ノ問題ニ大變不利益ニナラウト思ヒマス、ト申スノハ此出訴
期限ヲ經過シテ居ルヤ否ヤト云フコトハ矢張此委員會デ說ノアツタコトデ
レガ少數ヲ消滅シテ今日議場ニ現レテ居ナイノヲ山脇君ニ依ッテ再ヒ喚起セ
ラレタ形ニナツテ居ル、是ハ聯結シテ御討論ニナツテ議長ニ於テ採決ノ際ニ
採決ノ順序ヲ山脇君ノヲ先ニ御採下サレバ矢張先決問題ト結果ハ同様ニナラ
ウト思ヒマス。カテ私ハ此議事ヲ慎重ニ爲スメ御參考ノメ申上ゲマス。
○三浦安君 私モ水野君ト同様デアリマス、是ハ議論ヲ盡ササル中ニ先決問
題トシテ唯今ノ說ヲ決ヲ御採ニナルト妙ナ結果ニナリマス、矢張討論ノ濟
ダ後ニ修正說同様二十名ノ賛成ヲ得タレバ決ヲ採ラレルノガ適當ト存シマス

○關義臣君 贊成

○兒玉淳一郎君 本員ハ議長ノ御說ノヤウニ先決問題トシテ御採ニナツテ差
支ナイ、何トナレバ山脇君ノ御說ハ之ヲ棄却スルト云フ御議論デ即チ出訴期
限ノ問題デアルカラ前ノ理由ハ縱令ドウアツテモ判決ガ棄却サレタ、ソレニ
附イテハ先決ニシテ所ガ前ノ理由ハ再ヒ現レヌ、理由ハ何處ヘ持ッテ行キマ
シテモ判決スルノニ一向關係セヌモノデアル故ニ議長ノ御說ノ如ク前ニ決セ
ラレテモ差支ハナイ、併ナガラソレガ後ニシテ方御便利デアルト云フナラバ
如何ヤウニナリマシテモ本員ハ異議ハアリマセヌガ、一向理由ハ何所ヘ持ッ
テ行ッテモ差支ナイ、デアルカラ後トヘ持ッテ行カナケレバナラヌト云フコト
ハアルマイト思ヒマス

○子爵長岡護美君 本員モ水野君ニ同意デアリマシテ是ハ大概先例モサウ

ナツテ居ルヤウデアリマス。カラ十分討論ノ上一番ニ此山脇君ノ說ヲ決ヲ御
採ナスツタ方ガ至當ダラウト考ヘマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 長岡子爵ニ申シマスガ先例ハナイノデアリマス

○子爵長岡護美君 唯今マデガ其方ガ便利デアラウト思ヒマス、今御採ナサ
ルノハチヨット順序ヲ誤ッテ居ルヤウニ思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今議長ノ宣告ニ對シテ御同意ナスツタ方モアリ

マスシ又反對ノ意見モアリマシテ、反對ノ方ニ贊成ノ方モ段々アリマス。カラ
此順序ノコトハ滿場ノ起立ニ諮フ積デアリマス、先キニ決議ヲスルト云フコ
トノ議長ノ宣告ノ通同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數デゴザイマス、然ラバ議事ハ此儘進行シマス

○男爵小澤武雄君 山脇君ガ提出ニナツタ修正意見ハマダ定規ノ賛成ヲ得テ
ナイノデゴザイマス。カ

○議長(公爵近衛篤磨君) 定規ノ賛成ヲ得テ居リマス、ソレデハ續イテ議事

ヲ進行致シマス關義臣君

(關義臣君演壇ニ登ル)

○關義臣君 諸君、私ハ委員ノ一人デ、即チ多數者ノ一人デアリマス、既ニ
多數者ノ意見モ諸君ノ御手許ヘ印刷ニナツテ回ッテ居リマス。カラ既ニ御了解
アルコト、ハ存シマスガ、反對者諸君ノ中ノ御一人富井君ヨリ先刻喋々ト私
ニシテハ反對者ノ方ノ富井君ノ御說ヲ御辯明ニナリマシテゴザイマス、或ハ
此事件ハ最モ輕カラヌ事件デアツテ、自然反對者諸君ノ意見ノ方ニ滿場諸君

ノ御贊同デモアルヤウナコトニナリマシテハ容易ナラヌコト、存シマス。(笑
聲起ル)是ハ暫ク御笑下サナイヤウニ願ヒマス、ナセ容易ナラヌカト言ヘバ
決シテ私共ハ多數者ノ一人デアリマス。故ニ唯自說ヲ苟モ主張スル譯デハナ
イ、御承知ノ如ク此度ノ原告ノ訴狀モ諸君ノ御手許ニ回ッテゴザイマセウガ何
カラ此訴ガ出テ來タカ、偶然ト獨リ生レ出テ來タノデハナイ、現ニ昨年ノ
臨時議會ニ本院ノ裁決ニ依ッテ、ソレニ牽聯シテ、牽聯所デハナイ、緣資シ
テ起ッテ來タ爭訟デアル、追、反對者ノ御方デハ關係ガアルケレドモ別物ト
云フ御說モアル、ケレドモ決シテ別物デハナイ、誠ニ要點ハ簡單ナコト、申
シテモ宜カラウト思フ、反對者ノ御意見見ルト云フト一人ノ無資格者ガア
タコトヲ認メタ、其無資格ノアツタコトヲ認メタ以上ハ其投票ニ依リテ當
選シタル者ノ當選ノ無効ナルコトハ論ヲ俟タヌト云フコトニナツテアルケレ
ドモ、到底此打消ガアツテ名簿其モノガ動イタシデハナイ、選舉ガ無効ト云
フ譯デモナイ唯一人ノ無資格者ガアツタ、其無資格ノ投票ガ一人アツテ見
レバ十五人ガ關ケテアル、故ニ松村修平氏ノ當選ハ無効トシタダケデア
ル、今日ニ關係ハ持タナイ斯ウ云フ要點デアルケレドモ是ハ最モ關係ヲ持ッ
ナル、自然反對者ノ先刻カラ富井君ノ御說ノヤウニシテ行クト、ナセ昨年松
村修平ノ當選ヲ無効デアルト云フコトニ本院ガ判決シタノデアラウカ、到底
確定名簿又ハ選舉ソレノ互選規則ニ極ツテアル、假ニ互選規則ノ第十一條
第十三條ニ立派ニ明文ガアル、明文ガアルニモ拘ラズ本院ガ昨年松村修平氏
ニ對シテハ當選ハ無効デアルト云フ判決ヲ下シタノハ何デ下シタノデア
ルカ、無論此確定名簿其モノ、又確定名簿ヨリ生シテ來タ選舉ハ無効ト云フコ
トニナラズシテ動カセウハナイ、松村其人ニ對シテ唯偶然ト動カサウトシ
テモ動カセウハナイ、ソレデモ或ハ反對者ノ御說ノ中ニ、御說ノ中ニハナイ
カ知ラヌガ私ハ委員ノ一人ニ聞イタコトガアリマス、先刻モチヨットサウ云
フ富井サンノ御話ガアツタヤウデアリマスガ、先キノ臨時議會ニ於テノ判決
ノ中ノ理由ニ確定名簿ヲ動カセウ選舉ハ無効ダト云フ御說ガアルガ見エナ
イ、ソレハ私ガ見テモ見エナイ、ケレドモ到底其理由ノ不備ナルモノヲ以テ
判決ノ主點ヲ動カスコトハ出來ナイ、判決ノ主點ト云フモノハ即チ貴族院多
額納稅者議員松村何某ノ當選ハ無効トスト云フ判決デアル、シテ見ルト此判
決ニアル理由ヲ推ス外ナイ、若シ確定名簿モ動カサズ選舉ニ效ガアツタナラバ
ナセ松村修平君ノ當選ヲ無効トシタカ、無効トシタ結果ハ何カラ來タカト云
ヘバ素ヨリ確定名簿ガ動キ選舉ガ動イタト云フカラ來タノデアアル、ソレヲ確
定名簿モ動カサレナイ、成ル程ハ素ヨリ互選規則ニ據レハ當リ前ノ十五日
ニ越シタ、十五日間ノ法定期間モ經過シ、又ソレニ依ッテ選舉ノ當時誰一人異
議ガナカッタ立派ナモノデアアル、ソレストラ昨年動イタノデアアル、動イテ見
バ即チ已ムヲ得ズ此度ノ判決、此度ノ爭訟ヲ決定スルニモ無論之ニ違ウタコ
トハ出來ナイ、御承知ノ通十五人、貴族院令ニ依ッテ十五人ガ相當ノ資格
者デアアルノガ十四人デアツタ、選舉ノ結果十五人ノ主點ガ即チ松村氏デア
ル、次點ガ荒野由次郎デアアル、素ヨリ荒野由次郎ト松村修平トハ同數デ六票ツ、
デアツタ、併ナガラ松村ハ年長タルガ故ニ荒野由次郎ハ年少タルガ故ニ規則
ニ據ッテ荒野ガ次點者ト爲ッタノデアアル、主點者ノ甲ガ無効ニナレバ即チ乙
ノ荒野由次郎モ同シク無効デアアル、次點者ガ無効デナイトハ言ハレナイ、貴

重ナル貴族院ニ於テ僅カ半箇年前ニ判決シタ其主旨ト同様ナコトデアアル、ツレニ今日反對スルコトガ出來マセウヤ、反對者ノ御意見ノ中ニハ斯ウ云フコトガアル、法理上ヨリ見ルトキハ其判決ノ主旨タル唯一人ガ無資格者ト認メラレタニ外ナラヌ、確定名簿ヲ左右シタルモノト見ルコトヲ得ヌトアリマスガ、確定名簿ヲ左右セヌノ何ンデ松村修平ニ當選ガ無効デアアルト云フコトヲ言渡シヤウガナイノデアアル、又斯ノ如キコトハ假令爲サムト欲スルモ爲ス能ハズト言ハレタ、是ガ又オカシイ、御承知ノ通貴族院令第九條ニ貴族院ハ其ノ議員ノ資格及選舉ニ關ル爭訟ヲ判決ス、ト云フダケデ之ニ制裁ハナイ、或ハ制裁ト云ヘバ例ヘテ見レバ勅令ニ違反スルコトモ貴族院ノ判決ハ無効カト云ヘバ昨年ノ本院ノ臨時議會ニ於テノ判決ハ理ガアルダラウカ、決シテ違ハナイダラウト思フ、又昨年例ガ開ケテ勅令ニモ反對スル判決デアッタケレドモ已ムヲ得ナイ、控訴ノ途モナイ、上告ノ途モナイ、全ク終結ノ判定デアアル、シテ見レバ到底反對者ノ申サル、斯ノ如キコトハ爲サント欲シテ爲シ能ハザルモノナリトアルガ爲シ能ヘタノデアアル、爲シ能ヘタノダカラ貴族院議員トナツテ居ル松村君ニ對シテ當選ハ無効ト云フ判決ヲ與ヘタノデアアル、若シ之ヲ反對者ノ御意見ノ如ク致ス日ニハ妙ナ結果ニナルデアリマス、前ニ申上グタ通確定名簿ニ據リ互選ニ依ツテ選舉サレタ主點者次點者ト並ンデ居ルニ主點者ニ效ガナク次點者ノ荒野由次郎ニ效ガアルト云フコトハ決シテ出來ナイ、ナゼト云フニ本院デ昨年六月、僅カ七箇月前ニ判決シタモノデアアル、其判決ハ前ニハ甲ト言ヒ今日ノ十三議會ニハ乙ト言フサウ云フコトハ出來ヌ、サウ云フコトヲシテハ貴重ナル貴族院ノ信用ニモ害ガアルシ又天下公衆ノ人ノ信憑ヲモ失ヒ却ツテ疑訝ヲ招クコトニナツテ甚ダ本院ノ威嚴ニ關スルコトデアアル、ソコデ先刻モ西村君ノ御質問ガアリマシタ、御尤ノ御質問ト思フ、私共モ或ハ御同意デアアルガ今日デハ御同意ハ出來ナイ、昨年ハ其說デアアル、勅令ノ第十一條第十三條ニ於テハ出來ナイ論デアッタガ既ニ動カシタ、其動カシタノハ多數デアアル、本院ノ多數デ判決シタノデアアルカラ相當ノ判決ト認メナケレバナラヌノデアアル、ツレデ多數者ノ意見デゴザイマシテ確定名簿モ自然ト本院ノ昨年ノ判決デ動イタモノデ選舉モ無効ニナツタノデアアル、而シテ見レバ同ジク今日ノ原告人昨年ノ被告人デアアル、松村修平ニ對シテハ無効デアッタ次點者ノ荒野由次郎ニ對シテハ有效ナリト言フコトハ出來ナイ、無効デアアル、如何トナレバ確定名簿モ動キ選舉資格モ動イタノデアアル、若シ確定名簿ニモ僅ガ附カズ選舉モ完全デアレバ昨年ノ如ク松村修平ニ對シテ無効ト言フコトハ出來ナイノデアアル、ケレドモ已ムヲ得ナイノデアアル、既ニ昨年ノ判決ハ即チ例トナツテ居ルノデアアルカラ到底多數者ノ意見ハ右様ノ次第デゴザイマスカラ、尤モ私ニ於キマシテハ……是ガ先例ナリト云フ先刻富井君ノ御說モアッタガ是ハ昨年ノ臨時議會ノガ先例デ今日ハ第二度目ト見ルヨリ他ナイ、ドウゾ公平ヲ保ツタメ天下ノ信ヲ失ハザルタメ昨年ノ判決例ニ據リマシテ多數者ノ意見ハ御承知ノ通此判決ヲ下シマシタモイデアリマス、ドウゾ宜シク反對者ノ御論ノヤウナ私ハ辯ガ立ツ男ヂヤアナイケレドモ、ドウゾ法理上、肝要ナ所ハ沈著シテ御考下サルヤウニ願ヒタイ、又期限ノコトニ附イテハ山脇君カラ御論ガアリマシタガ是ハ委員多數デ述べテ置イタ通デスカラ再ビ申上グルコトハ致シマセヌ、宜シクドウゾ沈著ニ御

考下サルヤウニ願ヒマス
○兒玉淳一郎君 御質問ヲ致シタウゴザイマス、チヨット關君ニ伺ヒマスガ、今ノ關君ノ御說ヲ能ク沈著シテ承リマシタガ、今ノ御演說中デ本員ガ分リ兼ネマス所ガアリマス、御演說中デ伺ヒマスト前ノ判決ノトキニ確定名簿ガ動イタト云フコトヲ言ハレマシタガ今日ノアナタノ御意見ハ前ノ判決ハ惡ルカッタ、仕直スト云フノデスカ
○關義臣君 決シテ仕直シハヤラヌデス、終審ノ判決デアアルンダ、決シテ上告ガ出來ルノ控訴ガ出來ルノト御互ガ大審院ニ居ッタトキニヤッタヤウナモノデハナインダ、是ハ終審ノ判決デアアル、アナタガ御承知ノ通デハナイカ、先刻御論ガアッタガ補關選舉ハ判決ノ中ニハ入レナイ、是ハ行政官ノスルコトダ、其結果ニ依ツテ補關選舉ヲセヌケレバナラヌノダ、昨年ノ判決ノ主意ハ理由書ニモ書イテナイガ結果カラ推シ及シテ分ッテ來ル、是ハアナタハ御承知デアラウ
○兒玉淳一郎君 ドウモ御答ガ分ラヌ、要領ヲ得マセヌ、アナタト私ト大審院ニ居ッタト……
○關義臣君 ツレヲ言ッタノハ惡ルカッタ、謝シマセウ、アレダケ取りマセウト述フ

唯今度ノ爭訟ハ昨年ノ裁判ガ惡ルイニ依ッテヤリ直シテ貫ヒタイト云フ御考カドウカ承リタイ

○關義臣君 ツレハ私ノ不調法ナ口カラ言フヨリ多數者ノ意見書ヲ御覽ニナレバサウ云フ御質問ハ起ラヌ、昨年ノ裁判ガ惡ルイトモナイ、仕直ストモ書イテナイ、此意見書ヲ御手許ニ回ハシテアリマスカラ十分御了解ト思ヒマス
○兒玉淳一郎君 尙ホ伺ヒタイコトガアリマスルガ、ソナラバ此訴訟ハドウ云フ訴訟ト御認ニナリマシタ
○關義臣君 ハイ……

○兒玉淳一郎君 松村修平ハ何ヲ請求スルト御認ニナリマシタ、ドンナコトヲシテ貫ヒタイト云ウテ居リマスカ
○關義臣君 此訴狀ニ書イテアル、アナタハ訴狀ヲ見テ居ラレマセウ

○兒玉淳一郎君 アナタノ御見込ヲ聞キタイ
○關義臣君 ツレナラバ此多數者ノ意見書ニ原告松村修平氏ノ要領ガアリマスカラ讀上ゲマスルカラツレデ御承知下サイ

○兒玉淳一郎君 ツレヲ讀上ゲルコトハイラヌ
○關義臣君 ツレナラバアナタ何モ勞スルコトハナイ
○兒玉淳一郎君 之ヲ讀上ゲルナラバ宜シイ
○關義臣君 アナタハ讀メヌノデハアルマイカト思フ、御手許ニ回ッテアルノヲ御聞ナサルカラ……

○兒玉淳一郎君 宜シウゴザイマス
○西村亮吉君 チヨット一言、關君ハ此昨年ノ議決ガ選舉法ト確定名簿ヲ共ニシテ決シタト云フ御說デアリマスガ、サウ云フ御說デアリマスガ……

○關義臣君 無論申シタ通デアリマス……
○西村亮吉君 チヨット御聽ナサイ……言葉ノ立テヤウカ知ラヌガ、理由書ニ

○關義臣君 チヨット御聽ナサイ……言葉ノ立テヤウカ知ラヌガ、理由書ニ

ハサウ云フコトハアリマセヌ、此裁判ハ結果ヨリ理由ヲ推サレト云フタノ
デアル、ナゼ結果ヨリ推サレカト云フコトハ現在貴族院議員松村修平ハ
當選無効デアルト云フテ止メラレタ、其結果ハ何デ來タカト云フコト確定シタ
ル選舉、確定名簿ニ依ッテ選舉ヲ動サレバ松村修平ノ當選ハ無効ト云ハレ
ナイ、固ヨリ理由書ノ中ニハナイカラサウ云フコトハ一體解釋法ト云フモノ
デ往カナケレバナラヌ、判決ハ判決ノ理由ガ分ラヌデモ、結果ヨリ理由ハ斯
ウ云フコトガ推サレ、是ガ當リ前ノ解釋法、其判決文ニ書イテナイカラ確
定名簿ハ動カヌ、デ前ノ選舉ガ完全デナイト云フサウ云フ解釋ハ出ナイ推定
ハ出ナイ

○西村亮吉君 チョット御尋致シマス昨年ノ此判決シタ理由ニハ何トアルカ
チョットワレヲ御聞カセテ願ヒタイ

○關義臣君 私ハ昨年ノハ持ッテ居リマセヌ御持ナラ拜見願ヒタイ

○西村亮吉君 御聞カセ申シマセウ

○關義臣君 御聞カセデハナイ拜見シタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 相對ノ御話ハドウゾ……

○西村亮吉君 「互選人資格ヲ失ヒタル者ナレハ其爲シタル投票ハ無効ト爲
ササルヲ得ス」斯ウアル

○關義臣君 ソレワドウデス

○西村亮吉君 能ク分リマシタカ

○關義臣君 分カリマセヌ

○西村亮吉君 ソレナラモウ止メヤウ……分ラヌ人ト物ヲ言ウテモ……

(松岡康毅君演壇ニ登ル)

○松岡康毅君 諸君、私ハ本問題ニ附イテハ少數者ノ意見ヲ贊成スル一人デ
アリマス、段々先刻來御名論ガ澤山出マシテ最早私共カラ愚見ヲ申ス必要ハ
ナイカトモ存シマスガ極簡短ニ諸君ノ御清聴ヲ煩シタイ考デアリマス、抑此
選舉ニ關シマシテハ各種ノ法律ガ如何ニモ區々ニナッテ居リマス、即チ貴族院
多額納稅者ノ選舉ノ仕方、衆議院議員ノ選舉法、又市町村ノ市會村會ノ議員
選舉法手續モ違ヒマスレバ固ヨリ文章ノ書キ方モ違ッテ居リマス、ソ
レハ同シヤウナ事柄ヲ示シナガラ前後不同ノ所ガアリマシテ其隨分錯雜シタ
問題デアリマス、併シ此議員ヲ選舉スルナゾト云フコトハ免レナ
イ次第デアリマス、併シ此議員ヲ選舉スルナゾト云フコトハ免レナ
イコトヲ第一番ニ先ヅ一ツ考ヘマスレバ錯雜シテ居ル各種ノ法律モ一貫シ
タ必要、要點ト云フモノガナケレバナラヌ、即チアル、ソコハ申上ゲルマデ
モアリマセヌガ多少ノ不明瞭ナル廉ガアラウトモ、此多クノ人ノ代表ヲサセ
ルタメノ議員ヲ出ス其手續上ニ於テハ多少不明瞭ナ所ガアラウトモ大目的
ル人ヲ出ス議員ヲ出ス、議員タル者ノ資格ガ定マルト云フ所ニ運バシテ行ク
ト云フノガ必要デアラウト思ヒマス、若シ一言ノ文字上ハ強テ強テ説
ヲ附ケマスルト違ニ唯今ノ現行ノ法律デハ殆ド完イモノハナイト云フ位ニ了
ルデアラウト懸念ヲ致シマス、ソコデ本員ハ多額納稅者議員ノ互選規則ハ
最モ簡單ナ條文デアリマス、隨分疑問ノ起ルハ是ハ免レナイ次第デア
ルト覺悟ハ致シテ居リマス、從ッテ前申上ゲマスルヤウニ其主眼タル所ニ運
方ノ又解釋ト云フモノヲ取ラヌケレバナラヌト信ズルノデアリマス、倍テ

此本問題ニ附キマシテ段々雙方ノ御論ヲ先刻來承ッタコトデアリマス、
本院ニ於キマシテ昨年松村氏ニ對スル當選訴訟ハ本院ニ於テ判決ニナリマ
シタ所ノ此判決ト云フモノハ本員杯ハ其節反對ノ意見ヲ持ッテ居リマシタガ
悲シイコトニハ少數デアリマシタ、デ其判決ノ當否ハ最早今日ヨリ申スベキ
筋ノモノデモアリマセヌ、是ハ確定シタモノデ今日前日ノ判決ヲ覆審スル
コトモ破棄スルコトモアルベキ筈ハゴザイマセヌカラ不服ナガラモ以前ノ判
決ハ以前ノ判決トシテ置クヨリ最早致方ハアリマセヌ次第デアリマス、然
ルニ此本員ノ少數者ノ意見ニ同意ヲ致シマス所以ハ多數者ノ意見ト云フモノ
ヲ概括シテ見マスルトドコガ主意ニナルデアラウカト段々考ヘテ見マスルト
甚ダ其要領ヲ得ルニ苦シムノデアリマス、或ハ本員ノ其要領ヲ摘ミ間違ヘタノ
カモ知レマセヌケレドモ要旨ヲ摘シタト思ヒマス、所ヲ申シテ見マスルト前
判決ハ選舉人ノ資格ハ立入ッタ名簿ガ確定シテアル所ノ十五人ノ中ノ互選人
タル字野何某ノ資格ガドウスウト云フコトデ其資格ハ立入ッタ、資格ハ立入ッ
タモノデアアルカラ確定名簿ト云フモノヲ破ッテシマッタノデアアル、確定名簿ト
云フモノヲ前議會ニ於テ既ニ一タビ之ヲ破ッタ、一タビ之ヲ破ッタ以上ハ再ビ
破ッテシマフガ宜シイト云フ斯ウ云フ結論ニナラウカト思ヒマス、定テサウ
デナイト云フ御方ガアルカ知ラヌガ本員ノ見ル所デハ選舉人ノ資格ハ立入ッ
タノハ確定名簿ヲ破ッタノデアアル、一タビ確定名簿ヲ破ッタナラバ其名簿中カ
ラ選舉サレタ荒野ト云フ今日當選ニナッテ居ル人モ矢張破ッテシマハネバナ
ラスト云フ結論ニナルカノヤウニ存シマス、若シサウデゴザイマセウナラバ
後トデ仰シヤッテ下サレバ又御答モ致シマス、本員ノ見ル所デハ一タビ名簿
ヲ破ッタ即チ選舉人ノ資格ハ這入ッタカラ確定ヲ破ッタ、一タビ破ッタ以上ハソ
レカラ成立ッテ居ル今日ノ當選人ハ根カラ無効デアアルカラ寧ロ根カラ破ッテ
シマフガ宜シイト斯ウ云フコトニ本員ハ聽取ルノデアリマス、ソコデ此選舉人ノ
資格ハ立入リ即チ確定名簿ニ載ッテ居ル互選人ノ其資格ヲ有ルノ無イノト審查
ヲシタ事柄ガ不法カ不法ニアラザルカト云フコトガ大有用ナコトニナリマ
ス、本員杯ハ見ル所ヲ以テ見マスレバ選舉人ノ資格ハ立入ッタノハ少數シモ
不法デハナイ、ソレハ獨リ多額納稅者ノ事柄バカリデハナイ衆議院議員ニ於テ
モ或ハ市町村會ニ於テモ確定名簿ト云フコトハイツデモモチヤントアル、ケレ
ドモ其確定名簿ノ中ニ經過シテ來テ居ル其中ニ這入ッテ居ル人ニ於テ資格ヲ
失ッテ居ル者ガアレバ其人ノ爲シタル投票ハ無効デアアル、假令名簿中ニ這入ッ
テ居ラウトモ固ヨリ法律上ノ要スル資格ヲ持ッテ居ナイ人ガアッテ其人ガ投
票シタナラバ其投票ハ無効デアルト云フコトハ當選訴訟ノ上ニハ少數モ珍ラ
シクナイ、衆議院議員ノ當選訴訟デモ或ハ市町村會議員ノ選舉並ニ資格ニ關
スル訴訟ニ於テモ判決例モイクラモアルシ又事實上サウアルベキ筈ノコトデ
チットモ珍ラシイコトデハナイ、ソレデ若シ此多數者ノ御論ノヤウナコトニ
致シテ見マスルト抑、此當選訴訟ト云フノハ如何ナル場合ニ許スノデアアルカ
本員杯ハ見ル所デハ奇妙ナ結果ヲ生ジテ來ヌケレバナラヌ、即チ訴訟ヲ許ス
バカリデハナク今ノ一人ガ闕ケタレバ即チ十五人ノ頭ヲ揃ヘテ居ナイモノニ
ナルカラ無効ダト云フ御説ヲソコヘ合セテ見ルト餘程奇怪ナ結果ニナル例ヘ
テ申シマスレバ此前日ノ松村氏ノ被告ト爲ッタ當選訴訟ニ若シアノ節ニ松村
氏ガ七票ヲ得テ居ッタ荒野氏ガ五票ヲ得テ居ッタト斯ウナリマス、サウシテ其

松村氏ノ得テ居ル七票ト云フ中ニ一票ト云フモノニ宇野ト云フ人ガアツタト
假ニ見マスル、サウシテ一票ノ方ハ一向差支ナイ、荒野氏ノ訴ヘタノニハ二
票ノ無効デアツタト云フ訴訟デアツタト假ニ見マシテ其トキニ判決ヲシテ一
票ノ宇野ト云フノハ無効デアアル、外何某ノ一票ハ有效ダトナレバ松村氏ハ依
然ト六票荒野氏ハ五票シカナイ、一票違ヒ、ソコデ松村氏ノ當選ハ有效ナリト
本院ガ判決シタト見マス今日多數ノ論者諸君ハ既ニ宇野一人ガ資格ヲ失
タ以上ハ六票ヲ得テ居ラウトモ松村氏ハモトノ選舉確定名簿ガ破レテ居ル
カラ無効ダト云フ論ヲ爲サラヌケレバナラヌ話ニナル、決シテサウ云フコト
ハ本員杯ハナイ、ソコデアレガ五票ト五票ト云フモノニ一票ガナクナツタカラ
地位ガ顛倒シタノデアリマス、ケレドモ二票無効ノモノナリト見附ケテ訴ヘ
タトキニ一票シカ無効ノモノハナイト判決ガアツテ依然ト松村氏ハ有效當選
ノ人ダト云ツタトキニ今日多數ノ論者諸君ハ全部無効ダ、十五人ノ中一人關
ゲタカラマル、無効ダト斯ウ仰ツシヤルカサモナケレバ最早確定シタ以上
ハ選舉人ノ資格ハ如何ナルコトガアツテモ言フコトハナラヌ、是ガ確定名簿ノ
效力ト云フモノデアアルト云フ御論ニ座ハルデアラウカ、若シ選舉人ノ資格
ヘハ毫モ指ヲ差スコトノ出來ナイモノダト云フ斯ウ云フトキニハ非常ニ結果
ガ妙ニナツテ來ル、何故カト申スト選舉シタ其人ニ於テハ前々日カラ資格ガ缺
グテ居ルコトガアルトモ今日手ヲ著ケルコトハナラヌト言ヒナガラ若シ當選
シタ其人ノ資格ニ缺ガアツタトキニハ何トナサルデアラウカ、是モ例ニ引クノ
デアリマスガ松村氏ガ五票荒野氏ガ五票ト斯ウアツタ、サウシテ假ニ荒野氏ヨ
リ松村氏ヲ當選訴訟ニ訴ヘテ曰ク松村氏其人自身ハ確定名簿ニハ載ツテ居ル
ケレドモ此確定名簿ヲ作ルヨリ以前カラ業ニ已ニ或ハ納稅トカ甚ダ云ヒ惡イ
コトナレドモ何カ外ニ犯罪デモアツタトカ何トカ申シテアノ列記シテアル資
格ノ中ノ一若クハ二ヲ缺イデ居ル人デアアルト云フ訴訟デアツタ時分ニハドウ
ナサル、ソレデモ確定シテ居ルカラモウ云ハレナイト斯ウ仰シヤルダラウ
カ、決シテサウ云フコトハナイ、果シテ法律ニ要スル資格ニ缺ケテ居ツタナラ
バ此資格及選舉ニ關スル訴訟ヲ許シテアル以上ハ其コトヲ斥ケル譯ニハイカ
ヌ、若シ其時分ニ本人ノ資格ニ缺ケガアツタトキニハ或ハ確定名簿ガアツテ
モ構ハナイ、ソレハ除ケル、斯ウ云フトキニナルト其當選訴訟ヲ爲シタ所ノ
所謂次點者荒野氏ト云フ者ハドウスルデアラウカ、其時分ニデモ多數說ノ方
ノ諸君ハ荒野氏其人ノ資格ガ缺グタトキニ十五人ニ缺ケルカラ即チ全部帳簿
カラ造リ直シテ選舉シ直サナケレバナラヌト云フ議論ヲスベキ結果ニナル、
誠ニ左様ナコトニナルト確定名簿ト云フモノハ何ノタメニ作ツタデアラウ
カ、少シモ確定名簿ト云フ所ノ效ガ現レモセズ見エナイ話デアリマス、之ヲ要
スルニ前判決ノ旨趣ト申スノハ徹頭徹尾一票ノ投票其物ガ無効ダト云フノニ
決シテ居ルノニ違ヒナイ、ソレヲ諸君ハイキナリ確定名簿ト云フモノガ無効
ダトシタノデアアル、斯ウ謂ハハ強テ押附ケテ解釋ヲシタ如ク吾共デハ承ル
譯デアリマス、何處ニモ確定名簿ガ惡イト云フコトハナイ、又確定名簿ト云フ
モノト投票ノ有效無効ト云フコトハ竝ビ行レテ相悖ラヌ、獨リ此貴族院多額
納稅者バカリノコトデハナイ、衆議院議員ニ於テ確定名簿ト云フノモアル、投
票ノ有效無効ト云フコトモ無論アル、市町村ノ方ニ於テモ無論其通デアリマ
ス、投票ノシタ人ノ投票ノ效力ノ有無ハ一ノ判決ガ出來テソレカラ確定名簿

ト云フモノハツレノタメニ消エル譯デアナイ、ト申スト反對論者ノ御方ガイ
ヤ外ハノハ人數ニ限ガナイカラ後トカラ小言ヲ云フ者ハナイ、貴族院ノ如キ
ハ多數ノ十五人ト云フノデアアルカラ若シ一人ガ無資格ニナレバ十六人目ニナ
ル者ガ這入ツテ來ル權利ガアルデアナイカ、斯ウ云フ御論モアルト承知ヲ致
シマスルガソレモ差支ナイ、ソレハ即チ確定名簿ト云フ期限デ切ラレルノデ
アル、例ヘテ申スト此市町村デ三級選舉ヲスル、假ニ皆サンモ詳シク申サズト
モ御承知デアリマセウガ、一町村ニ三百圓ノ納稅ガアリ、一番上ノ百圓八十
人ノ人ガ納メル、次ノ百圓八十人、末ノ百圓八十人ノ人ガ納メルト假ニ人
數ヲ分ケテ見マシタトキニ一番最多額ノ納稅者八十人ト云フ者ガ一人ノ議員ヲ
選舉シタト云フヤウナトキニ其八十人ノ資格ニ缺グタ者ガアル、ソレデ一人ガ
缺グタレバ八十人ト云フモノ、全部イケンイト云フ話ニナルト、斯ウシテ見マ
スルト二級ノ方ノ頭ニ在ル人ガ一級ニ這入ルベキデアアルト云フノ小言ヲ
云ヒ出ス、サウスルト二級ニ一人關ケガ出來ルト三級カラモ這入ルベキ權利
ガアルト云ウテ理窟ヲ云フカ、サウスルト疵ノナイニ二級モ三級モ一級ノ中ニ
タツタ一人無効ノ投票ヲシタ者ガアルト云フタメニ全町村、三級ノ選舉トモ悉
ク破壊シテシマハナケレバナラヌヤウナ結果ヲ見ルニ至リマス、ソレハ最初
ニ申上ゲマシタヤウニ此公共ノ機關ヲ作ル上ニ其ヤウナ錯雜紛亂ナコトヲス
ル必要ハナイ、スベキモノデアナイ、所謂確定ノ名簿ノ確定ト云フモノヲ拵ヘタ
ノハサウ云フ種々ナコトガ生ジテモモウ其處ハ人定法律ヲ斷チ切ツテシマハ
ナケレバナラヌ、何處カラ何處マデモ洗ヒ立ヲ致シマシタトキニハ死生モ測
ラレヌ人間ノ儀デアアル、色々ノ資格即チ財產等ニ對スル變更ト云フモノモ
モ朝夕ヲ測ラレヌモノデアアル、旁、此確定名簿ト云フモノデ句切ヲ附ケテヤリ
マシタモノデアアルカラ其中ニ一人二人ノ有效無効ト云フコトガアラウトモ全
部ノ選舉、全部ノ確定名簿ト云フモノハ容易ニ動かスベキモノデアナイ、ソレ
デ本問題ニ就キマシテハ免角ニ爭フ所ハ前判決ニ於テ當選ノ資格ヘ立入ツタ
カラ確定名簿ガ破レタノデアアル、一旦破レタ以上ハ一度トモ破ツテスルガ宜イ
ト斯ウ云フコトニ立至リマシタノト、又一方カラ申セバ何處マデモ一二ノ投
票ノ有效無効ト云フコトガ全部確定名簿ト云フモノヲ動かカスモノデアナイ、
斯ウ云フダケノ論ノ別レニナリマシタコトデ酷イ込入ツタ問題デモナイト思
ヒマスルガ、尙ホ其間ニ或ハ此多數額納稅者ノ訴訟判決規則ニ如何ニモ補關選
舉ト云フ箇條モアル、ソレデ當選ト云フモノヲ一ツ訴ヘテ其當人ガ無資格者
デアツタナラバ即チ補關ト云フノデ即チ外ノ者デ補關セヌケレバナラヌノ
デアアル、斯ウ云フ御論モアルコトモ聞キマシタガ是モ勿論本員杯デハ不同意
ナ話デ、補關選舉ト云フノハ外ニ代リノナイトキニ缺グタ、缺グタトキニ選舉
ヲスルノガ讀シテ字ノ如ク補關ト云フコトデアリマス、又當選ノ訴訟ト云フ
コトハ言葉自ラ顯シテ居ル、アノ人ガ當選スルノハ不當デアアル、私が當選者
デゴザル、斯ウ云ウテ訴訟即チ一ツノ目的ガアツテ爭フノデアアル、當選訴訟ヲ
スル時分ニ補關選舉ノアルベキ筈ガナイ、補關選舉ト云フノハ或ハ訴訟モナ
イトキニ俄ニ其人ガ犯罪デモ犯シタトカ或ハ外ニ資格ノ缺グタコトガアツテ
瘋癲ニデモナツタトカ云フトキニ已ムヲ得ヌ資格ノ審查ヲ貴族院ガ自ラデモ
スル、其トキニハ選舉モモナケレバナラヌト云フ結果ガ起リマスガ當選ノ訴
訟ニ補關選舉ト云フコトガ直グニ起ツテ來ルト云フノハ本員杯ノ受取レナイ

所ノ説アリマス、未ダ多少意見モゴザイマスルケレドモ大體諒諦メテ見マ
スレバ誠ニ前判決ノ惡ルイ所カラ序ニ何處マデモイッテ破ツテシマフト云フ
ノト、前判決ハ不當デアアルケレドモツレト是トハ關係シナイ、是ハ是デ矢張存
シテ行カレルモノデアアルト斯ウ云フノガ多數者論ト少數者ノ論ト分カレルマ
デノ論デアラウト存ジマス、モウ格別餘計ナコトハ申上ゲマセヌ

(金子堅太郎君演壇ニ登ル)

○金子堅太郎君 午前ヨリ此選舉爭訟ノ問題ニ附イテハ明瞭ナル御意見モ多
ク出マシテ憲法上ノ論ハ盡キタトハ存ジマスケレドモ私モ委員會ノ決議ニ贊
成者ノ一人トシテ私ノ意見ヲ陳述シテ極暫時ノ間、諸君ノ清聴ヲ汚サウト思
ヒマス、斯ノ如キ人身ニ關スル、殊ニ其議場ニ列席ノ權ヲ剝奪スルヤ否ヤト
云フ問題ニ附イテハ吾々言論ヲ主張スルト同時ニ誠ニ其先ツ同議席ニ列シ
テ居ル多數納稅議員ノ位ヲ取消スカ取消サヌカト云フコトデゴザイマス
ラ實ニ心苦シイ所ガゴザイマスルケレドモ憲法上ノ解釋ナリ貴族院ノ權力
消長ニ附イテハ我々黙止スルコトニ忍ビヌタメニ聊カ意見ヲ述ベタイト思
ヒマス、私ハ富井君ト同様ニ荒野君ニモ松村君ニモ未ダ議場デハ御目ニ掛
タカ知ラヌガドナタデアアルカ御顔モ知ラヌ、又此御兩君ガ如何ナル政治上ノ
御意見ヲ御持ニナツテ居ルカ知ラヌ、唯私ハ貴族院ノ權力ト是ニ關スル法案
ノ精神ニ附イテ意見ヲ述ベタイ、即チ私ハ此委員會多數ノ意見ヲ贊成スル者
デアアル、段々確定名簿ガ壞レテ居ラナイ、確定名簿ガ壞レテ居ラヌカラ選舉
ガ壞レテ居ラヌ、唯一ノ投票ガ無効ニナツタト云フ論ガ少數者ノ意見ト私ハ思
フ、所ガ此確定名簿ニ附イテ或ル度合マデハ私ハソレハ御同意スルケレドモ
貴族院ノ資格審査スル權力ノ及ブ所ト衆議院議員ノ資格審査ニ對シテ裁判所
ノ權力ガ及ブ所トハ餘程違フト思フ、ツレハ能ク諸君ニ御承知置テ願フテ本問
題ノ可否ヲ御決シニナランコトヲ願フ、衆議院ノ議員デハ若シ訴訟ガ起ツタト
キニハ裁判所ハ確定名簿ニハ及サナイデヤナイカ、選舉ハ有效デアヤルデヤナ
イカ、唯其投票ダケガ無効デアアル依ッテ貴族院モ同様ノ精神ニ行クト云フ是ハ
間違ッテ居ル、貴族院ト云フモノハ私が申サズトモ各種ノ團體カラ出來テ衆
議院トハ違ッテ居ルデアアル、況ヤ多數納稅者ハ十五人ノ多數納稅者議員カラ
互選スルトアル、衆議院ノハドウカト申シマスルト何千人何万人ノ投票デア
ルカラ此異動ト云フモノハ一ノ無効ノタメニ全體ヲ動かスト云フコトハ出來
ナイ、衆議院ト貴族院ハ此資格審査ノ方法ガ此議場ニ於テドノ議員ノ投票ハ
無効ナリ此議員ノ資格ハ無効ナリト議スルト同時ニ確定名簿ニマデ影響ヲ及
スト云フコトハ貴族院ニ於テハ一モ制限サレテ居ラナイ、其證據ヲ申シマス
レバ決シテ私が一己ノ意見デハナイ、互選規則ノ第十一條ニ「互選資格ヲ得ヘ
キモノニシテ自ラ互選名簿ニ記載セラレタルコトヲ發見シタルトキハ告示ノ
後云々申立ツルコトヲ得」ト斯ウアル又「總テ互選資格ヲ得タルモノハ互選
資格ヲ得ヘカサルモノ、互選名簿ニ記載セラレタルコトヲ發見シタルトキ
ハ前項ノ手續ニヨリ改正ヲ求ムルコトヲ得」トアル互選資格ノアル者ガ同列
ニ資格ノナイ者ガアルカラト云フト取消又記載セラレベキ資格ノアル者ガ記
載サレズニ居ルカラ取消ヲ命ズル、貴族院ト云フモノハ若シ或ル場合ニ於テ
資格ノナイ人ガ載ッテ居ッタナラバ之ヲ無資格者トシテ確定名簿ヲ壞シテ
更ニ名簿ヲ調製セシムルト云フコトハ一モ貴族院ノ權限ニ法律モ憲法モ束縛

シテ居ラヌ、ツレヲ何ヲ苦シンデ自ラ自分ノ權能ヲ束縛スルデアアルカ、私
ニハ分ラヌ、モウ一ツ進デ申シマスレバ明治二十七年ノ勅令ヲ御覽ニナレ
バ分ルドウ書イテアル「貴族院多數納稅者議員ノ補選選舉ニ關スル件、第一
條府縣知事ハ貴族院多數納稅者議員ノ補選選舉ノ命ヲ受ケタル日ヲ期トシテ
其府縣ニ於テ互選資格ヲ有スル者十五人ノ名簿ヲ調製シ其期日後二十日以内
ニ之ヲ各互選人ニ配付シ併セテ其管内ニ告示スヘシ、後四十日ヲ經過スレハ
確定ス」トアリマス若シ資格審査ノ結果トシテ或ル互選人ノ一人ガ無資格者
ト爲レバ十四人、十三人ト爲レバ當然確定名簿ハ貴族院ノ判決ノ結果トシテ壞
レル、壞レタトキニハ議員選舉ヲ命ズル、其補選選舉スルコトキハ又確定名簿
ヲ仕直スト云フコトニナルデアアル、之ヲ其衆議院議員ノ選舉法ニ比較シテ
見マスレバ九ツ切其方針ハ違ッテ居ル、是ハ憲法上貴族院ト衆議院ト此資格
審査ニ於テ違フ原因ハ諸君ハ十分御承知デゴザイマセウケレドモ尙ホ引證ノ
タメニ申上ゲマスガ衆議院議員選舉法第二十九條ニ「選舉人名簿ハ六月十五
日ヲ以テ確定期限トシ次年ノ調製ノ日マデ之ヲ據置クヘシ」トアツテ是ハ一
年間ハ動かセナイゾト書イテアルカラ衆議院議員資格審査ノ起ツタトキハ
裁判所ハ動かカストハ出來ナイ、唯此下ノ投票ダケヲ動かカス、此方ハ補選
選舉ガアレバ何時デモ其時々十五人ヲ作ルト云フコトデアアルカラ其十五人ノ
納稅資格ハ始終變遷スルガ故ニ其度毎ニ仕直スコトガ出來ル、ツレ故ニ貴族
院ノ權能ヲ一モ此法律ハ束縛シナイ、既ニ名簿ガ壞レバツレカラ流レ出テ
來ル所ノ結果タル選舉ハ壞レル、依テ宇野清左衛門氏ガ無資格ト爲レバ十四人
ト爲ル、十四人ト爲レバ確定名簿ハ十五人デナケラネバ壞レルカラ更ニ其名
簿ヲ調製シテ補選選舉ヲ行ウト云フコトハ當然ダト思ヒマス、ツレカラモウ
一ツ申シマスレバ其投票ト選舉トノ區別ハ御承知ノ通今マデ貴族院デ資格
審査シタルキニモ投票ノ有效無効ハ選舉全體ニハ及バヌ、選舉ハ有效ダケレ
ドモ投票ハ無効ダ、併シ投票ガ無効ト云フノハドウ云フコトカト云フト定規
ノ用紙ヲ用ヒストカ名前ヲ書誤ッタトカ或ハ色々ナ缺點ノタメニ投票ガ無効
ニナル、是ハ選舉全體ニハ及バヌ、併シ選舉人ノ資格ニアツテ十五人ト云フ
ノガ十二人トカ十三人トカ十四人ト爲ッタトキハ選舉ガ自然ト壞レル、資格ノ壞
レタタメニ確定名簿ガ壞レテシマフ、確定名簿ガ壞レルバ其選舉ハ無効デア
アル、選舉ガ無効デアレバ無論投票ノ無効論ハ出ナイデモ宜イ、其區別ヲ明
ニスレバ今度ノ如キハ既ニ昨年宇野清左衛門氏ヲ無資格者トシタルキニハ其
トキヨリ確定名簿ハ壞レテ居ル故ニ補選選舉ヲ行フノガ私ハ至當ト思ヒマ
ス、又是ガ貴族院デ松村修平ノ當選ハ無効トスルコト斯ウ云フ判決ガアツテ後
ト結末ガ附イテ居ラヌ、茲ニ又一ツ諸君ノ御參考ニ申上ゲタイノハ某ノ當選
ハ無効トシテ取消スナラバ其後トノ某ヲ以テ當選者トスト云フヤウニ一方ヲ
無効トシテ一方ヲ當選者ト判決ヲスルノガ資格審査ノ權能デアラウト思フ、
現ニ第一期議會ニ於テ和歌山縣選出議員前田謙祐ト云フ者ノ自選投票ニ附イ
テノ判決ヲ御覽ニナレバ分ル前田謙祐ノ自選投票ハ無効ナリ然レトモ中西光
三郎ト前田謙祐トハ同數デアアル、而シテ前田謙祐ハ年長者タルガ故ニ貴族院
ニ於ケル位列ヲ失ハズト云フ判決デアアル、一方ヲ無効トシテ置イテ一方ヲ有
效トスルト云フ判決ヲスルノハ即チ議場ノ位列ヲ與ヘル、奪フト云フ此議席
ノ與奪ノ權ハ貴族院ノ外ハ裁判所ト雖モ如何ナル行政ノ官廳ト雖モ與ヘルコ

トハ出来ナイノハ憲法上貴族院ノ特權デアル、ソレヲ唯松村修平ヲ有效デア
ルト云フタナラバ茨城縣知事ガ次點者ヲ以テ直ニ當選者トスルト云フコトハ
少シク穩當ヲ缺キハセヌカト思ヒマス、故ニ當時ノ議論ハ段々御議論ノアル
ヤウニ松村修平ノ當選ハ無効トスルガ誰モ當選人トシテ居ラヌト云フ御議論
ハアルガ其トキノ議決ノ精神ハ私ハ存ジマセヌケレドモ結果トシテ當然補選
選舉ヲ行フベキモノデアル、其補選選舉ハ必ズシモ衆議院ノ選舉名簿トハ違ッ
テ縣知事ガ其トキノ十五名ヲ選ブト云フ選舉規則ニナッテ居リマスカラ私
ハ貴族院ノ資格審查ニ附イテハ此ノ如キ場合ニハ補選選舉ヲ行フヲ以テ至當
ト致シマス、尙ホ委シク申上ゲマスレバ幾ラモゴザイマスルケレドモ大分
長時間ノ議事デゴザイマスル故ニ是デ止メ置キマス、何卒委員會ノ多數ノ
議決通ニ御協賛アラント希望シマス

○子爵高野宗順君 討論終結

(其他「討論終結」ト呼フ者多シ)

○富井政章君 質問ヲシヤウト思ッタノデアリマスガソレデハ止メマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 討論終局ノ動議ハ何處カラ出マシタカ知リマセヌ
ガ……

○子爵高野宗順君 私……

○議長(公爵近衛篤磨君) 討論終局ニ御異議ガナクバ討論終局ト致シマス
(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 討論ハ終局ニナリマシタ、然ラバ先ヅ初ニ山脇君
ノ動議ニ附イテ決ヲ採リマス

○伯爵德川達孝君 少シ一言申シタウゴザイマス、今表決ノ場合ニ大分退席
シテ居ル御方ガアルヤウデゴザイマスガ此表決ハ隨分必要ナモノデゴザイマ
スカラ成ルベクドウカ御退席ノ御方ヲ御呼出ノ上デ十分人ノ揃フタ所デ表決
ノアリマスヤウニ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今呼シデ居リマス

○水野遵君 議長ニ伺ヒマスガ此投票ノ方法ニ附イテドナタヨリカ申出ガゴ
ザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 無記名投票ト云フ要求ガアリマス、併ナガラ山脇
君ノ動議ニ對シテハ何ニモ要求ガアリマセヌ

○水野遵君 本員モ無記名投票ヲ希望致シマス

○男爵伊達宗敦君 チョット御尋シマス、サウシマス山脇君ノ動議ノ表決
ノ後トド少數者ノ意見ニ附イテ無記名投票ヲ以テ表決サレルノデゴザイマ
スカ

○議長(公爵近衛篤磨君) サウデゴザイマス、モウ大抵御揃ノヤウデスカラ
採決ヲシマス山脇君ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ト認メマス、次ニ少數意見ニ附イテ決ヲ採リ
マス、即チ無名投票ヲ行ヒマス……御分リニナラズバモウ一度宣告シマス、
委員會ノ少數意見ノ方ニ附イテ決ヲ採リマス

(「少數意見ニ反對ナラ黒球ヲ入レマスカ」ト述フル者アリ)

少數意見ニ附イテ無名投票ヲ以テ決ヲ採リマス、少數意見ニ賛成ノ諸君ハ白
ヲ、反對ノ諸君ハ黒ヲ入レル……

○西村亮吉君 少數意見ニ賛成ノ諸君ハ是(白票ヲ示シ)デスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 球デス、白イ球デス、チョット念ノタメニ申シマ
スガ名刺ヲ御忘ノナイヤウニ願ヒマス

○富井政章君 名ヲ書クト無効ニナリマス、書ク人ヤラ書カヌ人ヤラアル
ト不都合ト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 書ク方ガ宜シウゴザイマス、名刺ヲ……

○富井政章君 無名投票ト解シタノデアリマスガサウデナイノデアリマス
○議長(公爵近衛篤磨君) 無記名投票ハ球ヲ入レルノデ、名刺ヲ持ッテ來テ球
ヲ入レル、ソレデスカラ名ヲナイノハ無効ニナル

○富井政章君 分リマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君) 氏名點呼ヲ行ヒマス
(氏名點呼ヲ行フ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ開函致シマス
(書記官投票ヲ計算ス)

○議長(公爵近衛篤磨君) 投票ノ結果ヲ御報道ニ及ビマス、總數百五十三、
白票六十一、黒票九十二、即チ少數意見ハ否決ニナリマシタ、次ニ原案ニ就
イテ採決ヲシマスカラ御著席ヲ願ヒマス

○伯爵德川達孝君 少シ遲延カモ知レマセヌガ再ビ無記名投票ノコトハ取消
シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今無記名投票ノ要求ハ取消ガアリマシタガ、モ
ウ既ニ大勢ハ定ッテ居リマスコトデアリマスカラ起立デ決ヲ採リマス
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

原案、即チ委員會ノ決議、多數決ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半數ト認メマス、即チ委員會ノ決議ノ通ニ決シ
マシタ、今日ノ會議ハ是ニテ了リマシタ次ノ日程ハ追ッテ御報道致シマス、今
日ハ散會

午後四時四十五分散會

貴族院議事速記録正誤

頁	段	行	誤	正
九六	上	二一	時	正
九七	下	一一	デ	正
九七	下	四〇	小	正
九八	上	三二	ト	正
九八	下	二四	ナ	正
九九	下	二	分	正
九九	下	五	院	正
九九	下	一九	富	正
九六	上	二一	時	正
九七	下	一一	デ	正
九七	下	四〇	小	正
九八	上	三二	ト	正
九八	下	二四	ナ	正
九九	下	二	分	正
九九	下	五	院	正
九九	下	一九	富	正
九六	上	二一	時	正
九七	下	一一	デ	正
九七	下	四〇	小	正
九八	上	三二	ト	正
九八	下	二四	ナ	正
九九	下	二	分	正
九九	下	五	院	正
九九	下	一九	富	正

